

(素案)

第3期

久喜市教育振興基本計画

《実施計画》

令和8(2026)年度

久喜市教育委員会

— 目 次 —

I 実施計画の概要

1 実施計画の目的	1
2 実施計画の期間	1
3 PDCAサイクルによる進行管理	1
4 その他	1

II 事業計画

基本目標1 互いを認め合い一人ひとりの人権を尊重する

施策1 人権を尊重する意識を高めます	3
施策2 学校・家庭・地域等における人権教育を推進します	5

基本目標2 心豊かな人材を育む学校教育を充実し夢と希望の実現を支える

施策1 質の高い幼児教育を行います	11
施策2 子どもたちに未来を切り拓く力を育みます	15
施策3 豊かな感性と他者を尊重する心を養います	21
施策4 絆を深め、地域社会と連携した教育を推進します	29
施策5 児童生徒の安全確保と、安全教育を推進します	32
施策6 学校の適正規模・適正配置と学校施設等の整備を推進します	35
施策7 児童生徒の健康づくりを推進します	39

基本目標3 地域に根差した生涯にわたる学びを進め郷土の歴史文化を大切に にする

施策1 生涯にわたり学び続けるための環境をつくれます	43
施策2 年代を問わず文化芸術に親しむ機会を充実します	51
施策3 文化財の保存・継承を通じて郷土愛を育みます	53

I 実施計画の概要

1 実施計画の目的

実施計画は、第3期久喜市教育振興基本計画に定めた基本目標及び施策を達成するため、当該年度における具体的な取組み内容を示すことにより、教育行政の効果的な推進を目指すものです。

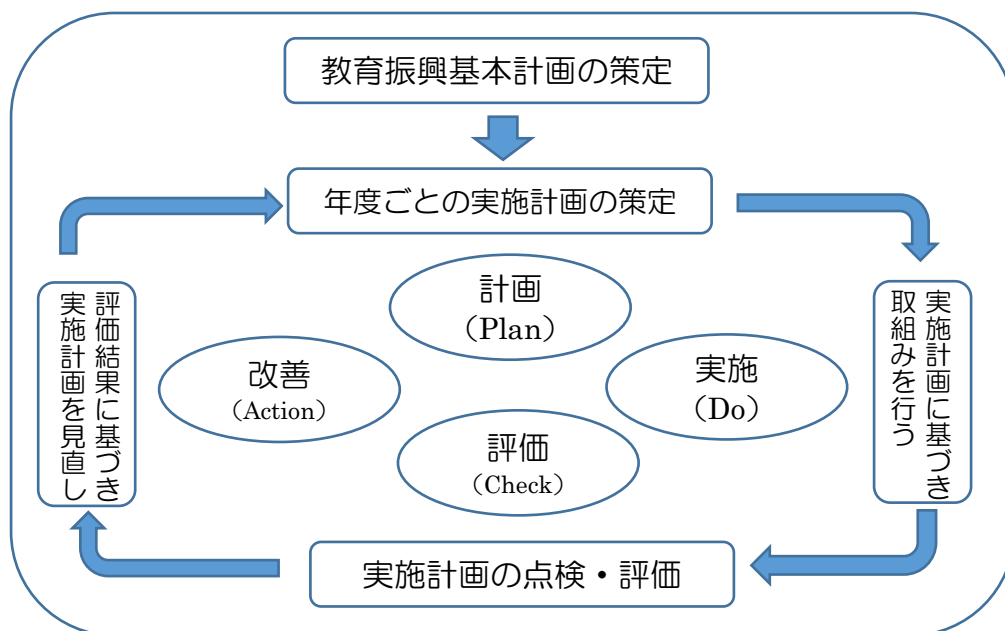
2 実施計画の期間

本実施計画の計画期間は、令和8（2026）年4月1日から令和9（2027）年3月31日までの1年間とします。

3 PDCAサイクルによる進行管理

年度ごとに実施計画を策定し、実施計画に盛り込んだ具体的な取組みを着実に実施します。また、毎年度「点検・評価」を実施し、成果と課題を分析することで今後の方向性を明らかにするとともに、評価結果から見出された改善点を次年度以降の実施計画に反映させ、見直しを行います。

★第3期久喜市教育振興基本計画の進行管理フロー



4 その他

- ・第3期久喜市教育振興基本計画における施策のうち、令和8（2026）年度に実施する取組みについて掲載をしています。
- ・取組み内容は、実施計画策定時点のものです。
- ・予算書上の事業名については、当該取組みが令和8（2026）年度当初予算書に掲載のどの事業の中で行われるかについて記載しています。
- ・取組み内容は、実施計画策定時点のものです。なお、小学校については義務教育学校の前期課程、中学校については義務教育学校の後期課程を含みます。

Ⅱ 事業計画

基本目標 1

互いを認め合い一人ひとりの人権を尊重する

すべての人が尊重され、差別や偏見のない明るい地域社会を実現するため、人権に関する法律等に基づき、部落差別をはじめとした様々な人権問題に対応し、人権教育や啓発活動を進めます。

施策 1 人権を尊重する意識を高めます

【施策の方向性】

市民一人ひとりが人権問題を正しく理解し、人権感覚を身に付け、互いの人権が尊重される社会の実現を目指すため、人権に関する法律等に基づき、人権教育・啓発を推進します。

学校・家庭・地域・事業者等を対象とした人権教育講座の開催により、人権教育指導者の養成及び資質の向上を図るとともに、人権問題に対する正しい理解と認識を深め、差別意識の解消、人権意識の高揚を図ります。

1 人権啓発事業の推進

連番	新規	取組み	取組みの概要	目標年度	予算書上の事業名	所管課名
1		人権啓発冊子による人権啓発の実施	人権教育・啓発のため、人権啓発冊子「久喜市の社会人権教育」を発行し、人権教育の取組みを広く周知します。			生涯学習課
2		広報紙での人権啓発の実施	広く人権意識の高揚を図るため、広報紙へ人権啓発記事を掲載します。			生涯学習課
3		啓発品の活用による人権啓発の実施	人権意識の高揚や差別意識の解消を図るため、啓発品を活用した人権啓発活動を実施します。		人権教育業務経費	生涯学習課

■取組みの『見える化』

第 3 期 計 画 期 間

広報紙の啓発記事「人権それは愛」の掲載回数 ※2		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	備考
【生涯学習課】	目標値			12回	12回	12回	12回	12回 (第3期計画策定時数値)	
	実績値	12回	12回	12回	12回	—	—	—	

※1 令和3年度は計画策定時の現状値として、令和4年度は実績値の推移として記載。

※2 令和6年度以降の実績値は広報くさへの啓発記事の掲載回数を記載。

基本目標 1 互いを認め合い一人ひとりの人権を尊重する

施策 1 人権を尊重する意識を高めます

2 人権教育指導者の養成

連番	新規	取組み	取組みの概要	目標年度	予算書上の事業名	所管課名
4		社会人権教育指導者養成講座の開催 ※再掲（連番No.11）	人権教育指導者の養成を図るため、学校・家庭・地域・事業者等を対象とした人権教育講座を開催します。 （1回開催予定）		人権教育推進事業	生涯学習課

■取組みの『見える化』

第3期計画期間

社会人権教育指導者養成講座の参加者数		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	備考
		目標値		304人	304人	304人	304人	304人 （第3期計画策定時数値）	
【生涯学習課】	実績値	★中止※2	195人	138人	180人	—	—	—	★コロナの影響あり コロナ禍前 273人 （令和元年度）

※1 令和3年度は計画策定時の現状値として、令和4年度は実績値の推移として記載。

※2 令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で中止。



SDGsの取組み

4 質の高い教育をみんなに	一人ひとりが人権問題を正しく理解し、人権感覚を身に付けられるよう、人権教育や啓発活動を推進します。	5 ジェンダー平等を実現しよう	一人ひとりが性別にかかわらず、平等に責任や権利や機会を分かち合えるよう、人権教育や啓発活動を推進します。
10 人や国の不平等をなくそう	複雑化、多様化する人権問題についての正しい理解と認識を深めるための人権教育や啓発活動を推進します。	16 平和と公正をすべての人に	部落差別をはじめとしたあらゆる差別について、差別意識の解消を図ります。
17 パートナーシップで目標を達成しよう	様々な関係者と連携し、各取組みを推進します。		

施策 2

学校・家庭・地域等における人権教育を推進します

【施策の方向性】

児童生徒の人権感覚を育む教育や教職員の資質・能力の向上を図るための研修を実施します。
 幼稚園、小・中学校のPTA等を対象とした人権教育研修会や事業者等を対象とした人権教育講座の開催等、各種事業を推進することにより、人権問題に対する正しい理解と認識を深め、差別意識の解消、人権意識の高揚を図ります。
 教育集会所の集約化を図るとともに、教育集会所事業として、児童生徒や成人を対象とした各種教室・講座、地域交流事業等を充実させ、地域住民の人権意識の高揚、地域住民の相互交流を推進します。

1 児童生徒への人権教育の充実

連番	新規	取組み	取組みの概要	目標年度	予算書上の事業名	所管課名
5		人権文集「えがお」の作成と積極的な活用 ※再掲（連番No.74）	児童生徒の人権意識を育むため、人権文集「えがお」をデータで作成し、全児童生徒に提供することで、学校や家庭で活用するよう指導します。			指導課
6		多様性、共生社会に係る視座を高める人権教育の推進 ※再掲（連番No.75）	多様性、共生社会に係る視座を高めるため、性的指向や性自認への正しい知識と理解を身につける「生命（いのち）の安全教育」を計画に位置づけ、人権教育を推進します。			指導課

■取組みの『見える化』

第 3 期 計 画 期 間

		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	備考
「人が困っているときは、進んで助けている」児童生徒の割合 【指導課】	目標値			小 92.0% 中 92.0%	小 94.0% 中 94.0%	小 96.0% 中 96.0%	小 98.0% 中 98.0%	小 100% 中 100% （第3期計画策定時数値）	全国学力・学習状況調査
	実績値	小 89.9% 中 89.8%	小 93.8% 中 88.0%	小 93.5% 中 89.4%	小 94.0% 中 90.4%	—	—	—	
		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	備考
「人の役に立つ人間になりたいと思う」児童生徒の割合 【指導課】	目標値			小 98.0% 中 97.0%	小 98.5% 中 98.0%	小 99.0% 中 99.0%	小 99.5% 中 99.5%	小 100% 中 100% （第3期計画策定時数値）	全国学力・学習状況調査
	実績値	小 96.0% 中 95.0%	小 97.1% 中 92.8%	小 97.4% 中 95.0%	小 97.0% 中 96.3%	—	—	—	

※令和3年度は計画策定時の現状値として、令和4年度は実績値の推移として記載。

基本目標 1 互いを認め合い一人ひとりの人権を尊重する

施策 2 学校・家庭・地域等における人権教育を推進します

2 教職員への人権教育の推進

連番	新規	取組み	取組みの概要	目標年度	予算書上の事業名	所管課名
7	○	教職員人権教育に係る各種研修会の実施 ※再掲（連番No.76）	教職員の人権意識の高揚を図るため、職位やキャリアを踏まえ、全教職員を対象とした研修、管理職を対象とした研修、新採用教職員を対象とした研修を実施します。		教職員人権教育事業	指導課
8	○	学校人権教育推進サイト「あおぞら」の作成・活用 ※再掲（連番No.77）	教職員の人権教育に関する豊かな人権意識の高揚を図るため、人権尊重の理念や人権教育の実践事例に関する情報を集約したサイト「あおぞら」を作成し、学校が活用できるように周知します。			指導課

■取組みの『見える化』

第3期計画期間

		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	備考
教職員人権教育研修会等開催回数 【指導課】	目標値			7回	7回	7回	7回	7回 （第3期計画策定時数値）	
	実績値	7回	7回	7回	4回	—	—	—	

※令和3年度は計画策定時の現状値として、令和4年度は実績値の推移として記載。

3 PTA等への人権教育の推進

連番	新規	取組み	取組みの概要	目標年度	予算書上の事業名	所管課名
9		PTA人権教育研修会の開催	PTA等の人権意識の高揚を図るため、人権教育研修を開催します。		人権教育推進事業	生涯学習課

■取組みの『見える化』

第3期計画期間

		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	備考
PTA人権教育研修会の開催数 【生涯学習課】	目標値			4回	4回	4回	4回	4回 （第3期計画策定時数値）	
	実績値	4回	4回	4回	4回	—	—	—	

※令和3年度は計画策定時の現状値として、令和4年度は実績値の推移として記載。

4 地域における人権教育の推進

連番	新規	取組み	取組みの概要	目標年度	予算書上の事業名	所管課名
10		教育集会所事業の充実	地域住民の人権意識の高揚を図るとともに交流を推進するため、子どもから高齢者までを対象とした各種教室・講座、地域交流事業等の充実を図ります。		人権教育推進事業 会計年度任用職員 給与費（社会教育 指導員）	生涯学習課

■取組みの『見える化』

第 3 期 計 画 期 間

教育集会所事業参加者数		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	備考
		目標値		976人	1,037人	1,098人	1,159人	1,220人 （第3期計画 策定時数値）	
【生涯学習課】	実績値	★766人	1,064人	1,388人	1,045人	—	—	—	★コロナの影響あり コロナ禍前 1,728人 （令和元年度）

※令和3年度は計画策定時の現状値として、令和4年度は実績値の推移として記載。

5 企業・事業者等に対する人権教育の推進

連番	新規	取組み	取組みの概要	目標年度	予算書上の事業名	所管課名
11		社会人権教育指導者養成講座の開催 ※再掲（連番No.4）	人権教育指導者の養成を図るため、学校・家庭・地域・事業者等を対象とした人権教育講座を開催します。 （1回開催予定）		人権教育推進事業	生涯学習課

■取組みの『見える化』

第 3 期 計 画 期 間

社会人権教育指導者養成講座の参加者数（再掲）		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	備考
		目標値		304人	304人	304人	304人	304人 （第3期計画 策定時数値）	
【生涯学習課】	実績値	★中止※2	195人	138人	180人	—	—	—	★コロナの影響あり コロナ禍前 273人 （令和元年度）

※1 令和3年度は計画策定時の現状値として、令和4年度は実績値の推移として記載。

※2 令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で中止。

基本目標 1 互いを認め合い一人ひとりの人権を尊重する

施策 2 学校・家庭・地域等における人権教育を推進します



SDG s の取組み

 4 質の高い教育を みんなに	一人ひとりが人権問題を正しく理解し、人権 感覚を身に付けられるよう、人権教育や啓発 活動を推進します。	 5 ジェンダー平等を 実現しよう	一人ひとりが性別にかかわらず、平等に責任 や権利や機会を分かち合えるよう、人権教育 や啓発活動を推進します。
 10 人や国の不平等 をなくそう	複雑化、多様化する人権問題についての正しい 理解と認識を深めるための人権教育や啓発 活動を推進します。	 16 平和と公正を すべての人に	部落差別をはじめとしたあらゆる差別につい て、差別意識の解消を図ります。
 17 パートナーシップで 目標を達成しよう	様々な関係者と連携し、各取組みを推進しま す。		

基本目標2

心豊かな人材を育む学校教育を充実し夢と希望の実現を支える

本市の子どもたちが自らの力で夢や希望を実現できるよう、幼児期も含め、一人ひとりに個別最適な学びと協働的な学びの充実を図るとともに、学校・家庭・地域が一体となり、子どもたちの成長と学びを支援します。

また、安全で快適な教育環境の整備、学校の適正規模・適正配置を進めるとともに、おいしい学校給食を提供します。

施策 1 質の高い幼児教育を行います

【施策の方向性】

家庭と連携し、基本的な生活習慣の習得とともに、自ら考えて遊び、生活する力の育成を支援します。また、特別な支援を要する幼児の特性に対応するなど、質の高い幼児教育を行います。

さらに、子どもたちが安心して小学校の生活に移行できるよう、幼児と小学生の交流や教員間の連携を強化します。

1 信頼される幼稚園の実現

連番	新規	取組み	取組みの概要	目標年度	予算書上の事業名	所管課名
12		保護者間でコミュニケーションを図る機会となる園行事の実施	保護者が幼児期の発達段階を理解し、保護者間でコミュニケーションを図る機会となるよう、園行事を計画的に実施します。			教育総務課 保育幼稚園課
13		保護者の「保育参加」の機会の設定	園における幼児の普段の姿を保護者に知ってもらうため、保護者が保育活動に参加し、教員が幼児に関わる様子を見たり、クラスの幼児と接したりすることができる機会を設定します。			教育総務課 保育幼稚園課
14		預かり保育の実施	保護者の子育て支援とともに、幼児の心身の健やかな発達を図るため、幼児に寄り合い、安心感のある預かり保育を実施します。			教育総務課 保育幼稚園課
15		保護者が教員に相談できる体制づくりや、講演会の実施	保護者の子育ての不安や悩みを解消するため、教員に相談したり、アドバイスを受けたりすることができるよう、面談や講演会を実施します。			教育総務課 保育幼稚園課
16		「3つのめばえ」の共通理解と、家庭と連携して取組む体制の構築	子どもの健全な成育のため、小学校、幼稚園、家庭において、埼玉県が示す子育ての目安「3つのめばえ」を共通理解するとともに、家庭と連携して取組む体制を築きます。			教育総務課 保育幼稚園課
17		保護者との連携強化	特別な支援を要する幼児の保護者との連携を深めるため、個人面談を行い情報を共有したり、関係機関と連絡を取合います。			教育総務課 保育幼稚園課

■取組みの『見える化』

第 3 期 計 画 期 間

市立幼稚園における 幼稚園評価保護者アンケートの幼稚園運営に関する項目について肯定的な回答が得られた割合 【教育総務課・ 保育幼稚園課】		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	備考
	目標値			91.7%	92.5%	93.3%	94.1%	95.0% (第3期計画 策定時数値)	
	実績値	90.1%	91.6%	94.5%	98.8%	—	—	—	

※令和3年度は計画策定時の現状値として、令和4年度は実績値の推移として記載。

2 幼児の非認知能力を育むための教育環境の充実

連番	新規	取組み	取組みの概要	目標年度	予算書上の事業名	所管課名
18		家庭生活状況の把握	幼児理解を深めるため、保護者との連携を密にし、家庭での生活の状況を適切に把握します。			教育総務課 保育幼稚園課
19		基本的生活習慣習得のための指導	幼児が自分で考えて行動する力を身に付けられるようにするため、身の回りの始末や後片付けを自分からできるように指導を行います。			教育総務課 保育幼稚園課
20		戸外遊びの充実	幼児の健全な心身の発達のため、好きな遊びを繰り返し取組める時間や場を確保したり、幼児が進んで遊びたいと思えるような環境設定を行い、戸外遊びの充実を図ります。			教育総務課 保育幼稚園課
21		思いやりの心の育み	思いやりの心を育むため、当番活動や異年齢との関わりを通し、人の役に立つ嬉しさや満足感、優しくされる心地よさ等を味わえる機会を設定します。			教育総務課 保育幼稚園課
22		友だちと一緒に食事をとる機会の設定	皆で同じものを食べる楽しさを味わいながら、食事のマナー指導や偏食等の改善を促すため、共通食を食べる機会を設定します。		幼稚園運営事業	教育総務課 保育幼稚園課
23		食育の推進	身近な野菜の栽培や収穫を体験することにより、食べ物への興味や関心を高めるとともに、バランスの良い食事と栄養の関係性など、栄養士による食育指導を通して、幼児の食への理解を図ります。			教育総務課 保育幼稚園課
24		あいさつや生活に必要な言葉の習得に向けての指導	幼児のコミュニケーション能力の育成を図るため、基本的なあいさつや、園生活に必要な言葉を表現できるように具体的な場面を通して指導を行います。			教育総務課 保育幼稚園課
25		幼児の主体的な生活の実現	幼児の自立心を養うため、教員との信頼関係を基盤とし、幼児が安心して自己発揮しながら主体的に生活できる環境を整えます。			教育総務課 保育幼稚園課

■取組みの『見える化』

第3期計画期間

市立幼稚園における 幼稚園評価保護者アンケートの子どもに関する項目について 肯定的な回答が得られた割合 【教育総務課・ 保育幼稚園課】		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	備考
	目標値			83.4%	85.0%	86.6%	88.3%	90.0% (第3期計画 策定時数値)	
	実績値	80.1%	77.0%	93.4%	94.0%	—	—	—	

※令和3年度は計画策定時の現状値として、令和4年度は実績値の推移として記載。

3 教員の教育実践力の向上

連番	新規	取組み	取組みの概要	目標年度	予算書上の事業名	所管課名
26		園内研修の実施	特別な支援を要する幼児などに適切に対応できるよう、また、幼児の実態を踏まえて、一人ひとりの成長につながる保育指導となるよう、計画的な園内研修を実施します。			教育総務課 保育幼稚園課
27		園外研修等への参加機会の設定	最新の保育に関する様々な情報を収集するため、園外研修や研究協議会に参加する機会を設定します。			教育総務課 保育幼稚園課
28		研究保育の実施及び外部指導者を招いての研修	教員の資質・能力向上を図るため、外部指導者による講演や保育の研究を行います。			教育総務課 保育幼稚園課

■取組みの『見える化』

第3期計画期間

市立幼稚園の園内研修のアンケートにおいて「よく理解できた」「理解できた」との回答が得られた割合 【教育総務課・保育幼稚園課】		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	備考
目標値				80.0%	85.0%	90.0%	95.0%	100% (第3期計画策定時数値)	
実績値		現状値なし (令和4年度調査開始)	99.5%	100%	100%	—	—	—	

※令和3年度は計画策定時の現状値として、令和4年度は実績値の推移として記載。

4 幼稚園・保育所・認定こども園と小学校との連携の推進

連番	新規	取組み	取組みの概要	目標年度	予算書上の事業名	所管課名
29		幼児と小学生がふれあう交流会や授業体験、見学会の実施	学校生活への期待や具体的なイメージを持つことにより、不安を払拭し円滑に移行できるようにするため、幼児と小学生の交流会や授業体験、校舎・校庭などの見学、給食体験等を実施します。			教育総務課 保育幼稚園課
30		連絡会（幼稚園・保育所・認定こども園と小学校）の実施	小学校への円滑な接続に向けて、幼稚園・保育所・認定こども園と小学校の教員間で連絡会を開催し、接続期カリキュラムの見直しや情報交換を行います。			教育総務課 保育幼稚園課
31		幼稚園・保育所・認定こども園と小学校の教員間における交流活動や授業参観等の実施	教員間の相互理解を深めるため、交流活動や保育・授業参観等を行います。			教育総務課 保育幼稚園課
32		小学校との交流手段の確保	新たな交流手段の確保を図るため、幼稚園・保育所・認定こども園と小学校との様々な交流手段について調査研究を行います。			教育総務課 保育幼稚園課

連番	新規	取組み	取組みの概要	目標年度	予算書上の事業名	所管課名
33		久喜市幼保小連絡会の開催 ※再掲（連番No.67）	5歳児から小学1年生の「架け橋期」の教育計画を協働して作成するため、久喜市幼保小連絡会を開催し、幼保小の連携を深めます。		教職員研修事業	指導課

■取組みの『見える化』

第3期計画期間

		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	備考
幼稚園・保育所・認定こども園と小学校の交流活動回数 【教育総務課・保育幼稚園課】	目標値			10回	14回	17回	21回	25回 (第3期計画策定時数値)	★コロナの影響あり コロナ禍前 22回 (令和元年度)
	実績値	★ 2回	21回	28回	34回	—	—	—	
		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	備考
久喜市幼保小連絡会の開催回数 【指導課】	目標値			2回	2回	2回	2回	2回 (第3期計画策定時数値)	★コロナの影響あり コロナ禍前 2回 (令和元年度)
	実績値	★ 0回 ※2	1回	2回	2回	—	—	—	

※1 令和3年度は計画策定時の現状値として、令和4年度は実績値の推移として記載。

※2 令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で実績なし。

※第3期久喜市教育振興基本計画における各施策の「主な取組み」以外の取組み

連番	新規	取組み	取組みの概要	目標年度	予算書上の事業名	所管課名
34		私立幼稚園の施設等利用に係る給付	幼児教育に係る保護者の経済的な負担を軽減するため、国の施策に基づき、私立幼稚園の施設等利用に係る給付を行います。		子育てのための施設等利用給付事業	教育総務課 保育幼稚園課
35		私立幼稚園の実費徴収に係る補足給付	幼児教育に係る保護者の経済的な負担を軽減するため、国の施策に基づき、私立幼稚園において実費徴収を行っている給食費のうち、副食分相当額を低所得世帯等に給付します。		実費徴収に係る補足給付事業	教育総務課 保育幼稚園課
36		補助教員の配置	特別な支援を要する幼児の健やかな成長につなげるため、当該幼児の実態に応じて補助教員を配置します。		会計年度任用職員給与費（幼稚園教諭）	教育総務課 保育幼稚園課



SDGsの取組み

4 質の高い教育をみんなに	基本的な生活習慣の習得とともに、幼児の「生活する力」を育成します。また、幼児と児童の交流や教員の連携を強化します。	17 パートナリシップで目標を達成しよう	様々な関係者と連携し、各取組みを推進します。
----------------------	--	-----------------------------	-------------------------------

施策 2 子どもたちに未来を切り拓く力を育みます

【施策の方向性】

児童生徒に持続可能な社会の創り手として必要な資質・能力を育成するため、現実の教室とオンライン上の仮想空間が高度に融合した学びの場である「久喜市版未来の教室」において、個別最適な学びの充実とSTEAM化された学びの充実を図ります。また、学びの連続性を確保するため、幼稚園・保育所・認定こども園から中学校卒業までの12年間を一体として捉えた教育を推進します。

1 SDGs 実現のためのESDの推進

連番	新規	取組み	取組みの概要	目標年度	予算書上の事業名	所管課名
37		SDGsを達成するための教科を超えた問題解決的な学習の推進	各学校での教育活動とSDGsとの関連を明らかにし、教育課程全体でESDを教科横断的に推進します。		教育指導事業	指導課
38		発達の段階に応じたキャリア教育の推進	児童生徒が明確な目的意識をもって主体的に自己の進路を選択できるようにするため、発達の段階に応じたキャリア教育を支援します。			指導課
39		学校の教育活動全体を通じた環境教育の推進	児童生徒が主体的に環境保全活動を実践する態度を養うため、環境教育の年間教育指導計画への位置づけやビオトープの活用など、学校の教育活動全体を通じた環境教育を実施します。		教育指導事業	指導課
40		主権者としての意識涵養につながる取組みの推進	児童生徒がより良い社会の形成者として必要な基礎を培うため、地域の関係機関との連携や、政治に触れる体験を重視することで、主権者としての意識を涵養する学習を実施します。			指導課
41		主体的な進路選択の能力を育成する社会体験チャレンジの実施	社会人と接することを通して社会への興味・関心を高め、職業に対する理解を深めるため、中学2年生による社会体験学習を実施します。		教育指導事業	指導課

■取組みの『見える化』

第3期計画期間

		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	備考
「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある」児童生徒の割合 【指導課】	目標値			小 64.0% 中 57.0%	小 68.0% 中 63.0%	小 72.0% 中 69.0%	小 76.0% 中 75.0%	小 80.0% 中 80.0% (第3期計画策定時数値)	全国学力・学習状況調査
	実績値	小 56.5% 中 45.0%	小 84.1% 中 66.1%	小 85.6% 中 74.9%	小 83.3% 中 75.2%	—	—	—	

※令和3年度は計画策定時の現状値として、令和4年度は実績値の推移として記載。

2 学力向上を目指した教育の推進

連番	新規	取組み	取組みの概要	目標年度	予算書上の事業名	所管課名
42		学力向上推進研究委員会による実践研究の推進	学習指導要領の趣旨を生かした教育の効果的な推進を図るため、研究委員会を開催します。		教職員研修事業	指導課
43		全国学力・学習状況調査及び埼玉県学力・学習状況調査の結果分析と活用	全国学力・学習状況調査及び埼玉県学力・学習状況調査から見た成果と課題を明らかにし、改善を図るため、研修の実施や授業研究等への支援を積極的に行い、改善につなげます。			指導課
44		校内研修を支援する学校訪問の実施	各学校で行われる校内授業研究会等において、指導主事が学校を訪問し授業力向上に向けて支援をします。		教職員研修事業	指導課
45		久喜市ステップアップテストの実施と活用	児童生徒一人ひとりの学力の実態を継続的に把握し、授業改善や個に応じた指導に活用するため、久喜市ステップアップテストを実施します。（小学4年生～中学3年生 6回程度実施予定）また、その結果を個票にして児童生徒や学校、家庭へ提供します。			指導課
46		2年間の研究委嘱と計画的・継続的な学校訪問の実施	学力向上についての研究を委嘱し、研究委嘱校への指導課訪問を実施するとともに、各学校の研究課題解決に向けた研修を支援します。		教職員研修事業	指導課
47		個に応じた指導の推進	児童生徒一人ひとりに応じたきめ細やかな指導のため、クラウドを活用した個別最適な学びの充実について支援します。			指導課
48		個に応じた学習問題の提供	久喜市ステップアップテストで把握した一人ひとりの学力の実態に応じて、児童生徒自らが端末を用いて学校や家庭で取り組むことができる学習問題を提供します。			指導課
49		放課後等学習支援「くき本樹塾」の実施 ※再掲（連番No.112）	学習習慣の確立や学力の向上を目指す、放課後等学習支援「くき本樹塾」を全中学校で実施します。（10校各30回実施予定）		中学生学力アップ教育推進事業	指導課
50		小学校と中学校の連携を図った教育課程編成の推進 ※再掲（連番No.69）	小・中学校の連携が図れるようにするため、義務教育9年間を見通した教育課程編成について支援します。			指導課
51		小学校高学年の教科担任制による教科指導の充実 ※再掲（連番No.68）	中学校の教員が、中学校区の小学校でも授業ができるよう、兼務発令を行います。			指導課

■取組みの『見える化』

第 3 期 計 画 期 間

		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	備考
学力を伸ばした児童生徒の割合	目標値			国語77.0% 算数・数学 82.0% 英語82.0%	国語84.0% 算数・数学 86.0% 英語86.0%	国語91.0% 算数・数学 90.0% 英語90.0%	国語97.0% 算数・数学 95.0% 英語95.0%	国語 100% 算数・数学 100% 英語 100% (第3期計画 策定時数値)	埼玉県学 力・学習 状況調査
	実績値	国語 63.4% 算数・数学 66.1% 英語 78.5%	国語 60.3% 算数・数学 52.6% 英語 63.3%	国語60.6% 算数・数学 62.0% 英語74.5%	国語71.9% 算数・数学 69.4% 英語81.1%	—	—	—	

※令和3年度は計画策定時の現状値として、令和4年度は実績値の推移として記載。

3 「久喜市版未来の教室」の推進

連番	新規	取組み	取組みの概要	目標 年度	予算書上の事業名	所管課名
52		オンライン教育の推進	学びの機会を確保するため、日常的なオンライン、ハイブリッド授業を推進します。			指導課
53		クラウドを活用した個別最適な学びの推進	Google Workspace for Education 及び各種学習支援アプリケーションを活用し、学びの複線化と、クラウド上に蓄積された学習データを児童生徒の指導支援に生かす個別最適な学びを推進します。			指導課
54		STEAM化された学びの推進	「社会とつながる教科横断的な学習」と「問題解決的な学習（PBL）」を通し、STEAM化された学びを推進します。また、学びの成果を発信する機会として、プレゼンテーション大会を開催します。			指導課
55		情報モラル教育（デジタル・シティズンシップ教育）の実施	適切で責任ある行動規範を育むため、児童・生徒を対象に情報モラル（デジタル・シティズンシップ）教育を実施します。			指導課
56		教職員のICT活用力の向上	教職員のICT活用力向上のため、ニーズに応じた内容の研修会を実施します。		教職員研修事業 GIGAスクール Lab事業	指導課

■取組みの『見える化』

第 3 期 計 画 期 間

		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	備考
授業にICTを活用して指導することができる教員の割合	目標値			85.0%	90.0%	95.0%	98.0%	100% (第3期計画 策定時数値)	学校における教育の情報化の実態等に関する調査（文部科学省）
	実績値	77.7%	83.4%	93.4%	92.7%	—	—	—	

※令和3年度は計画策定時の現状値として、令和4年度は実績値の推移として記載。

4 STEAM教育の推進

連番	新規	取組み	取組みの概要	目標年度	予算書上の事業名	所管課名
57		1人1台端末を活用した学習の推進	子どもたちの情報活用能力育成のため、端末を活用した個別最適な学びとSTEAM化された学びを推進します。		情報教育機器維持管理事業（小学校費、中学校費、義務教育学校費） GIGAスクールLab事業	指導課
58		地域や企業等との連携	社会とつながる教科横断的な問題解決型の学習や協働的な学びを推進するため、地域や企業等との連携を図ります。		GIGAスクールLab事業	指導課
59		プログラミング教育の実施	プログラミング的思考を育成するため、プログラミング教育に関する指導事例集や教材の開発を行います。		GIGAスクールLab事業	指導課
60		小学校理科支援員の配置	理科授業の活性化及び一層の充実を図るため、授業補助や教材準備・開発を行う小学校理科支援員を配置します。（全小学校配置30回実施予定）		教育指導事業	指導課
61		小学校理科教育研修会の実施	教員の指導力向上を図るため、理科教育の指導法についての研修会を実施します。（1回開催予定）		教職員研修事業	指導課

■取組みの『見える化』

第3期計画期間

		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	備考
「小学5年生まで（中学2年生のとき）に受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていた」児童生徒の割合 【指導課】	目標値			小 83.0% 中 77.0%	小 85.0% 中 80.0%	小 88.0% 中 83.0%	小 92.0% 中 88.0%	小 95.0% 中 95.0% （第3期計画策定時数値）	全国学力・学習状況調査
	実績値	小 79.4% 中 74.0%	小 81.7% 中 76.8%	小 85.2% 中 81.7%	小 84.5% 中 80.5%	—	—	—	

※1 令和3年度は計画策定時の現状値として、令和4年度は実績値の推移として記載。

5 グローバル社会で活躍するコミュニケーション能力を育む 外国語教育の推進

連番	新規	取組み	取組みの概要	目標年度	予算書上の事業名	所管課名
62		児童生徒のコミュニケーション能力を高める外国語活動及び英語教育の充実	教員の指導力向上のため、研修会を行います。また、外国語指導助手を適切に配置します。		会計年度任用職員給与費（主任外国語指導助手、外国語指導助手）	指導課
63		英語検定受験料補助等の実施	生徒の英語力及び学習意欲の向上を図るため、市内中学2年生及び3年生を対象に、英語検定受験料を補助します。また、市内各中学校を準会場とし、中学生が受験しやすいようにしていきます。		教育活動補助事業	指導課
64		文部科学省CBTシステム（MEXCBT）を活用した英語検定過去問の配信	文部科学省CBTシステム（MEXCBT）を活用し、公開されている英語検定の過去問を市内の中学生一人ひとりの端末に配信し、取組めるようにします。			指導課
65		姉妹都市提携をしているローズバーク市との久喜市中学生国際親善交流事業	コミュニケーション能力の育成のため、アメリカ合衆国オレゴン州ローズバーク市の中学生と市内中学生が交流を行います。			指導課
66		久喜市小学生イングリッシュキャンプの実施	コミュニケーション能力の育成のため、小学6年生を対象に、英語学習活動を実施します。（参加予定人数60人）			指導課

■取組みの『見える化』

第3期計画期間

		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	備考
中学校卒業段階で英語検定3級以上の英語力を有する生徒の割合 【指導課】	目標値			64.0%	68.0%	70.0%	76.0%	80.0% （第3期計画策定時数値）	英語教育実施状況調査（文部科学省）
	実績値	58.6%	58.3%	57.7%	57.1%	—	—	—	

※令和3年度は計画策定時の現状値として、令和4年度は実績値の推移として記載。

6 幼稚園・保育所・認定こども園から中学校までの12年間を一体として捉えた教育の推進

連番	新規	取組み	取組みの概要	目標年度	予算書上の事業名	所管課名
67		久喜市幼保小連絡会の開催 ※再掲（連番No.33）	5歳児から小学1年生の「架け橋期」の教育計画を協働して作成するため、久喜市幼保小連絡会を開催し、幼保小の連携を深めます。		教職員研修事業	指導課
68		小学校高学年の教科担任制による教科指導の充実 ※再掲（連番No.51）	中学校の教員が、中学校区の小学校でも授業ができるよう、兼務発令を行います。			指導課
69		小学校と中学校の連携を図った教育課程編成の推進 ※再掲（連番No.50）	小・中学校の連携が図れるようにするため、義務教育9年間を見通した教育課程編成について支援します。			指導課

■取組みの『見える化』

第3期計画期間

		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	備考
「前年度までに、近隣等の中学校【小学校の場合】（小学校【中学校の場合】）と、教科の教育課程の接続や、教科に関する共通の目標設定等、教育課程に関する共通の取組を行った」小・中学校の割合 【指導課】	目標値			小 92.0% 中 88.0%	小 94.0% 中 91.0%	小 96.0% 中 94.0%	小 98.0% 中 97.0%	小 100% 中 100% （第3期計画策定時数値）	全国学力・学習状況調査
	実績値	小 85.7% 中 80.0%	小 76.2% 中 70.0%	小 90.5% 中 80.0%	小 85.7% 中 90.0%	—	—	—	

※令和3年度は計画策定時の現状値として、令和4年度は実績値の推移として記載。



SDGsの取組み

1 貧困をなくそう	無料の放課後等学習支援「くき本樹塾」を市内全中学校で展開し、A型ドリル等も活用し中学生の学力向上を図ります。
17 パートナリシップで目標を達成しよう	様々な関係者と連携し、各取組みを推進します。

4 質の高い教育をみんなに	学校・家庭・地域や企業と連携し、持続可能な社会の創り手として必要な資質・能力を育みます。
---------------	--

施策 3 豊かな感性と他者を尊重する心を養います

【施策の方向性】

学校の教育活動全体を通じて道徳教育や人権教育の充実を図るとともに、読書環境や体験活動、キャリア教育の充実を図り、「久喜の子ども、5つの誓い」を推進します。

また、教職員や各種相談員等を中心にいじめや不登校、非行・問題行動等の未然防止、早期発見・早期対応に学校全体で取り組むとともに、学習や家庭教育・子育て相談等を必要とする児童生徒とその保護者に対する相談体制を充実します。

さらに、障がいの状況や一人ひとりの教育的ニーズに応じ個別に最適化された支援や、インクルーシブ教育を推進するほか、日本語の理解が困難な児童生徒への対応を図ります。

1 「久喜の子ども、5つの誓い」の推進

連番	新規	取組み	取組みの概要	目標年度	予算書上の事業名	所管課名
70		「久喜の子ども、5つの誓い」の学校・家庭・地域の連携	「久喜の子ども、5つの誓い」の具体的取組みを推進するため、教育委員会とPTA連合会、小・中・義務教育学校校長会が連携し取組みます。		コミュニティ・スクール事業	指導課
71		「久喜の子ども、5つの誓い」の学校における活用の推進	「久喜の子ども、5つの誓い」を児童生徒や保護者に周知するため、公立幼稚園、市内各学校に掲示して活用を図ります。			指導課

■取組みの『見える化』

第 3 期 計 画 期 間

「学校に行くのは楽しいと思う」児童生徒の割合		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	備考
		目標値		小 89.0% 中 87.0%	小 90.0% 中 88.0%	小 90.0% 中 89.0%	小 90.0% 中 90.0%	小 90.0% 中 90.0% (第3期計画策定時数値)	
【指導課】	実績値	小 88.9% 中 85.3%	小 88.4% 中 81.6%	小 88.9% 中 85.5%	小 91.2% 中 87.6%	—	—	—	全国学力・学習状況調査

※令和3年度は計画策定時の現状値として、令和4年度は実績値の推移として記載。

2 道徳教育の充実

連番	新規	取組み	取組みの概要	目標年度	予算書上の事業名	所管課名
72		「考え、議論する道徳」への授業改善	デジタル教材やタブレット端末を活用し、登場人物の心情やクラスメイトの意見を視覚的に共有することで、児童生徒の思考や議論が深まり、よりよく生きるための道徳的価値を主体的に追及していける授業を展開します。			指導課

連番	新規	取組み	取組みの概要	目標年度	予算書上の事業名	所管課名
73		久喜市版道徳教育リーフレットの活用 ※再掲（連番No.85）	学校の教育活動全体を通じた道徳教育推進のため、道徳教育研究委員会において、久喜市版道徳教育リーフレットの内容の充実を図り、活用を推進します。			指導課

■取組みの『見える化』

第 3 期 計 画 期 間

		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	備考
「自分には、よいところがあると思う」児童生徒の割合 【指導課】	目標値			小 84.0% 中 83.0%	小 85.0% 中 85.0%	小 87.0% 中 87.0%	小 89.0% 中 89.0%	小 90.0% 中 90.0% （第3期計画策定時数値）	全国学力・学習状況調査
	実績値	小 82.0% 中 81.0%	小 85.3% 中 81.4%	小 87.2% 中 83.8%	小 89.4% 中 86.5%	—	—	—	

※令和3年度は計画策定時の現状値として、令和4年度は実績値の推移として記載。

3 児童生徒への人権教育の充実（再掲）

連番	新規	取組み	取組みの概要	目標年度	予算書上の事業名	所管課名
74		人権文集「えがお」の作成と積極的な活用 ※再掲（連番No.5）	児童生徒の人権意識を育むため、人権文集「えがお」をデータで作成し、全児童生徒に提供することで、学校や家庭で活用するよう指導します。			指導課
75		多様性、共生社会に係る視座を高める人権教育の推進 ※再掲（連番No.6）	多様性、共生社会に係る視座を高めるため、性的指向や性自認への正しい知識と理解を身につける「生命（いのち）の安全教育」を計画に位置づけ、人権教育を推進します。			指導課

■取組みの『見える化』

第 3 期 計 画 期 間

		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	備考
「人が困っているときは、進んで助けている」児童生徒の割合 【指導課】	目標値			小 92.0% 中 92.0%	小 94.0% 中 94.0%	小 96.0% 中 96.0%	小 98.0% 中 98.0%	小 100% 中 100% （第3期計画策定時数値）	全国学力・学習状況調査
	実績値	小 89.9% 中 89.8%	小 93.8% 中 88.0%	小 93.5% 中 89.4%	小 94.0% 中 90.2%	—	—	—	
「人の役に立つ人間になりたいと思う」児童生徒の割合 【指導課】	目標値			小 98.0% 中 97.0%	小 98.5% 中 98.0%	小 99.0% 中 99.0%	小 99.5% 中 99.5%	小 100% 中 100% （第3期計画策定時数値）	全国学力・学習状況調査
	実績値	小 96.0% 中 95.0%	小 97.1% 中 92.8%	小 97.4% 中 95.0%	小 97.0% 中 96.1%	—	—	—	

※令和3年度は計画策定時の現状値として、令和4年度は実績値の推移として記載。

4 教職員への人権教育の推進（再掲）

連番	新規	取組み	取組みの概要	目標年度	予算書上の事業名	所管課名
76	○	教職員人権教育に係る各種研修会の実施 ※再掲（連番No.7）	教職員の人権意識の高揚を図るため、職位やキャリアを踏まえ、全教職員を対象とした研修、管理職を対象とした研修、新採用教職員を対象とした研修を実施します。		教職員人権教育事業	指導課
77	○	学校人権教育推進サイト「あおぞら」の作成・活用 ※再掲（連番No.8）	教職員の人権教育に関する豊かな人権意識の高揚を図るため、人権尊重の理念や人権教育の実践事例に関する情報を集約したサイト「あおぞら」を作成し、学校が活用できるように周知します。			指導課

■取組みの『見える化』

第3期計画期間

		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	備考
教職員人権教育研修会等開催回数	目標値			7回	7回	7回	7回	7回 （第3期計画策定時数値）	
	実績値	7回	7回	7回	4回	—	—	—	

※令和3年度は計画策定時の現状値として、令和4年度は実績値の推移として記載。

5 読書活動の推進

連番	新規	取組み	取組みの概要	目標年度	予算書上の事業名	所管課名
78		朝読書、読書週間等の充実	読書に親しむ児童生徒を育成するため、読書週間の充実や、読書に取組む時間の設定を行います。			指導課
79		県立図書館、市立図書館と連携した児童生徒の読書環境の充実	読書環境の充実のため、県立図書館、市立図書館と連携し、児童生徒の読書環境や学習環境の向上への取組みを推進します。			指導課
80		家庭での読書「家読」の推進	児童生徒が家庭でも読書に親しめるようにするため、学校、家庭と連携し、「家読」を推進します。			指導課

6 体験活動の充実

連番	新規	取組み	取組みの概要	目標年度	予算書上の事業名	所管課名
81		発達の段階に応じた体験活動の計画的な実施	児童生徒の豊かな人間性を育むため、発達の段階に応じた体験活動の計画的な実施を支援します。		教育指導事業	指導課
82		家庭、地域と連携を図った自然体験、文化活動等の体験活動の充実	コミュニティスクールを生かし、体験活動の充実のため、総合的な学習の時間や特別活動の時間に、地域の方が参加できる体験学習を提供します。		教育指導事業	指導課
83		地域の行事等を生かした体験活動の充実	地域の行事等を生かした体験活動の充実のため、総合的な学習の時間や特別活動を通して、キャリア教育の視点を踏まえて地域を学ぶ学習を進めていきます。		教育指導事業	指導課
84		小学校における学校動物飼育の推進	児童の豊かな人間性を育む心の教育の推進を図るため、子どもたちに生命尊重の心と豊かな感性を育む学校動物飼育事業を実施します。		教職員研修事業 教育指導事業	指導課

7 いじめや不登校、非行・問題行動等の防止対策の推進

連番	新規	取組み	取組みの概要	目標年度	予算書上の事業名	所管課名
85		久喜市版道徳教育リーフレットの活用 ※再掲（連番No.73）	学校の教育活動全体を通じた道徳教育推進のため、道徳教育研究委員会において、久喜市版道徳教育リーフレットの内容の充実を図り、活用を推進します。			指導課
86		いじめの未然防止・早期発見・早期解決に向けた取組みの推進	いじめの未然防止・早期発見・早期解決のため、久喜市いじめ問題対策連絡協議会（年2回）を開催し、各関係機関と連携を図るとともに、必要に応じ、いじめ問題の調査・対応のため、久喜市いじめ問題調査委員会を設置します。		生徒指導推進事業	指導課
87		子どもたちがICTを適切・安全に使いこなす情報活用能力の育成の推進	児童生徒自らが情報通信技術を活用するうえで必要なルールやマナーを理解し、主体的かつ適切に情報社会に参画していくための資質・能力を身につけることができるよう、各教科等を通じてデジタル・シティズンシップ教育の充実を図るとともに、各種啓発資料等を通して学校と家庭が連携した取組みを推進します。		生徒指導推進事業	指導課
88		学校・家庭・地域が一体となった積極的な生徒指導の推進	学校・家庭・地域が一体となった積極的な生徒指導を推進するため、各学校単位の生徒指導推進委員会、久喜市生徒指導推進委員会（年2回）を開催します。		生徒指導推進事業	指導課

連番	新規	取組み	取組みの概要	目標年度	予算書上の事業名	所管課名
89		不登校の解消を図る指導・支援体制の充実	不登校の解消を図る指導・支援体制を強化するため、市内4か所に教育支援センター「フレンドルーム」を設置します。また、市内全中学校に校内教育支援センターを設置しています。児童生徒一人ひとりが楽しく登校できるような教育活動を推進するため、教職員の研修を実施します。		教育支援センター事業 会計年度任用職員給与費（教育支援センター所長・指導員	指導課
90		教育支援センター所長・指導員とスクールソーシャルワーカーによる指導、相談の実施	各学校と連携しながら、教育支援センター所長・指導員、スクールソーシャルワーカーによる指導、相談を実施します。		会計年度任用職員給与費（教育支援センター所長・指導員・スクールソーシャルワーカー）	指導課
91		心理専門員・スクールソーシャルワーカーによる相談の実施 ※再掲（連番No.94）	保護者や児童生徒の悩みの解決を支援するため、臨床心理士の資格をもつ心理専門員やスクールソーシャルワーカーによる相談を実施し、必要に応じ福祉・医療の関係機関と連携します。		会計年度任用職員給与費（心理専門員、スクールソーシャルワーカー）	指導課
92		不登校傾向の生徒に個に応じた学習の保障	不登校傾向の生徒の学習機会を確保し、個に応じた学習を提供するため、共同オンライン分教室を設置し、市内各中学校の教員がオンラインで同時双方向型の授業を実施します。また、他者とのコミュニケーションの場を提供するため、メタバースを活用した支援を行います。		共同オンライン分教室事業	指導課

■取組みの『見える化』

第3期計画期間

		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	備考
いじめの解消率 ※2 （翌年度7月末実績） 【指導課】	目標値			小100% 中100%	小100% 中100%	小100% 中100%	小100% 中100%	小100% 中100% （第3期計画策定時数値）	埼玉県生徒指導に関する調査
	実績値	小100% 中100%	小 99.7% 中 100%	小 99.7% 中 94.4%	小 99.5% 中 100%	—	—	—	
		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	備考
「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う」児童生徒の割合 【指導課】	目標値			小100% 中100%	小100% 中100%	小100% 中100%	小100% 中100%	小100% 中100% （第3期計画策定時数値）	全国学力・学習状況調査
	実績値	小100% 中100%	小 97.6% 中 95.1%	小 97.4% 中 95.2%	小 97.8% 中 95.5%	—	—	—	

		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	備考
不登校児童生徒数 (市内全児童生徒 に対する割合)	目標値			小 33人 (0.50%) 中 113人 (3.20%)	小 29人 (0.45%) 中 100人 (2.90%)	小 26人 (0.40%) 中 89人 (2.60%)	小 22人 (0.35%) 中 78人 (2.30%)	小 18人 (0.30%) 中 68人 (2.00%) (第3期計画 策定時数値)	文部科学省 調査児童生 徒の問題行 動・不登校 等生徒指導 上の諸問題 に関する調 査
	実績値	小 43人 (0.63%) 中 138人 (3.87%)	小 68人 (1.00%) 中 187人 (5.28%)	小 69人 (1.03%) 中 196人 (5.70%)	小 66人 (0.99%) 中 179人 (5.28%)	—	—	—	
【指導課】									
		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	備考
不登校児童生徒の うち、多様な学び の場により、学習 指導等を受けてい る児童生徒の割合	目標値			小 55.0% 中 63.0%	小 60.0% 中 66.0%	小 65.0% 中 69.0%	小 70.0% 中 72.0%	小 75.0% 中 75.0% (第3期計画 策定時数値)	
	実績値	小 46.5% 中 56.5%	小 48.5% 中 43.3%	小 55.1% 中 42.9%	小 54.5% 中 62.0%	—	—	—	
【指導課】									

※1 令和3年度は計画策定時の現状値として、令和4年度は実績値の推移として記載。

※2 いじめの解消とは、いじめが止んでいる状態が3か月継続している状況のこと。

8 教育相談体制の充実

連番	新規	取組み	取組みの概要	目標 年度	予算書上の事業名	所管課名
93		教育相談の充実	子ども一人ひとりの多様な悩みに総合的に対応するため、各学校に教育相談員・スクールカウンセラー、教育委員会に心理専門員・スクールソーシャルワーカー、市内4か所の教育支援センターに所長・指導員を配置し、教育相談体制の充実を図ります。		教育相談事業 教育支援センター 事業 会計年度任用職員 給与費（教育相談 員、心理専門員、 スクールソーシャ ルワーカー、教育 支援センター所 長・指導員）	指導課
94		心理専門員・スクール ソーシャルワーカーに よる相談の実施 ※再掲（連番No.91）	保護者や児童生徒の悩みの解決を支援するため、臨床心理士の資格をもつ心理専門員やスクールソーシャルワーカーによる相談を実施し、必要に応じ福祉・医療の関係機関と連携します。		会計年度任用職員 給与費（心理専門 員、スクールソー シャルワーカー）	指導課
95		教育相談研修会の実施	教職員の相談技能向上のため、臨床心理士等の専門的な知識をもった講師を招き、研修会を開催します。		教育相談事業	指導課
96		生徒指導・教育相談中 級研修会の開催	教職員の相談技能を向上するため、県との共催で生徒指導・教育相談中級研修会を開催します。 (5日間開催予定)			指導課

9 インクルーシブ教育体制の充実

連番	新規	取組み	取組みの概要	目標年度	予算書上の事業名	所管課名
97		ユニバーサルデザインの授業の推進	ユニバーサルデザインの授業を推進するため、各学校への資料提供や校内研修における指導、助言を行います。		教職員研修事業	指導課
98		特別支援教育に係る教職員研修の実施	特別な教育的支援を必要とする児童生徒に対する指導方法の共通理解を図るため、教職員の研修会を開催します。		教職員研修事業	指導課
99		「個別の教育支援計画・指導計画」の作成と活用の推進	適切な支援を実施するため、特別な教育的支援を必要とする児童生徒の「個別の教育支援計画・指導計画」の作成と「サポート手帳」の活用がされるよう教員の研修会を実施します。		教職員研修事業	指導課
100		特別な教育的支援を必要とする児童生徒の支援の充実	特別な教育的支援を必要とする児童生徒を支援するため、教育活動指導員・教育活動支援員・教育活動看護支援員を配置します。		会計年度任用職員給与費（教育活動指導員、教育活動支援員、教育活動看護支援員）	指導課
101		関係機関と連携した就学支援・発達相談の充実	相談体制の充実のため、心理専門員、特別支援教育指導員やスクールソーシャルワーカーが関係機関と連携し、適切な就学支援や発達相談を実施します。		特別支援教育事業会計年度任用職員給与費（心理専門員、特別支援教育指導員、スクールソーシャルワーカー）	指導課
102		特別支援教育巡回指導、県立特別支援学校との連携	教員が個に応じたよりよい関わり方や支援・指導の方法を習得するため、特別支援教育指導員や心理専門員、県立特別支援学校の特別支援教育コーディネーターによる特別支援教育巡回指導を実施します。		会計年度任用職員給与費（特別支援教育指導員、心理専門員）	指導課
103		通級指導教室の運営の充実	特別な教育的支援を必要とする児童生徒やその保護者に対して適切な支援を行うため、「ことばの教室」、「情緒の教室」の円滑な運営を行います。		特別支援教育事業会計年度任用職員給与費（ことばの教室指導員）	指導課
104		支援籍学習の充実	特別支援学校との連携による交流及び共同学習の機会を設けます。			指導課

■取組みの『見える化』

第3期計画期間

通常の学級に在籍する特別な教育的支援を必要とする児童生徒の個別の指導計画作成率【指導課】		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	備考
	目標値			92.3%	94.2%	96.1%	98.0%	100% （第3期計画策定時数値）	
	実績値	88.5%	78.1%	95.7%	100%	—	—	—	

※令和3年度は計画策定時の現状値として、令和4年度は実績値の推移として記載。

10 日本語指導の推進

連番	新規	取組み	取組みの概要	目標年度	予算書上の事業名	所管課名
105		日本語を母語としない児童生徒の日本語指導の推進	日本語を母語としない児童生徒が日常生活に支障のない程度に日本語を理解できるようにするため、日本語指導員を配置します。		会計年度任用職員給与費（日本語指導員）	指導課
106		ICTを活用した日本語指導の推進	日本語を母語としない児童生徒の日本語能力育成のため、ICTを活用した個別最適な学びを推進します。			指導課

■取組みの『見える化』

第3期計画期間

日本語能力が向上した児童生徒の割合		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	備考
	目標値			64.0%	68.0%	72.0%	76.0%	80.0% (第3期計画策定時数値)	
【指導課】	実績値	56.0%	68.6%	70.0%	75.0%	—	—	—	

※令和3年度は計画策定時の現状値として、令和4年度は実績値の推移として記載。



SDG S の取組み

1 貧困をなくそう	一人ひとりの教育的ニーズに応じた支援を行うため、教育相談体制の充実を図ります。	4 質の高い教育をみんなに	道徳教育や人権教育、読書活動や体験活動、キャリア教育の充実を図り、「久喜の子ども、5つの誓い」を推進します。
5 ジェンダー平等を実現しよう	学校の教育活動全体を通じて、道徳教育や人権教育の充実を図ります。	10 人や国の不平等をなくそう	障がいの状況や一人ひとりの教育的ニーズに応じた個別に最適化された支援やインクルーシブ教育を推進します。
16 平和と公正をすべての人に	様々な相談に対応する相談体制を整備するとともに、福祉・医療等関係機関との連携を強化します。	17 パートナリシップで目標を達成しよう	様々な関係者と連携し、各取組みを推進します。

施策 4

絆を深め、地域社会と連携した教育を推進します

【施策の方向性】

学校・家庭・地域が一体となった教育活動や学校運営を展開するため、コミュニティ・スクールの充実を図るとともに、地域学校協働活動を推進します。また、教職員の資質や指導力の向上を図るため、キャリアステージや個々の特質・関心に応じた体系的な研修を実施するとともに、各種健康診断を通じて心身の健康の保持増進及び疾病の予防を図ります。

1 学校運営協議会の活動の充実

連番	新規	取組み	取組みの概要	目標年度	予算書上の事業名	所管課名
107		学校運営協議会への指導・支援の実施	学校運営協議会でのより発展的な熟議及び協働活動の充実のため、指導主事を派遣し、指導・支援を行います。		コミュニティ・スクール事業	指導課
108		学校運営協議会研修会の実施	委員の資質向上のため、学校間での交流や情報交換、研修会を実施します。 (全員研修会1回実施予定)		コミュニティ・スクール事業	指導課

■取組みの『見える化』

第3期計画期間

指導計画の作成に当たり、教育内容と、教育活動に必要な人的・物的資源等を、地域等の外部の資源を含めて活用している割合 【指導課】		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	備考
	目標値			小100% 中100%	小100% 中100%	小100% 中100%	小100% 中100%	小100% 中100% (第3期計画策定時数値)	全国学力・学習状況調査
	実績値	小100% 中100%	小100% 中100%	小100% 中100%	小100% 中100%	—	—	—	

※令和3年度は計画策定時の現状値として、令和4年度は実績値の推移として記載。

2 地域学校協働活動の充実

連番	新規	取組み	取組みの概要	目標年度	予算書上の事業名	所管課名
109		家庭・地域への学校の取組みの積極的な公開の実施	学校の取組みを広く家庭・地域に公開するため、学校だより、ホームページを活用し、活動の様子や予定等について周知を図ります。		コミュニティ・スクール事業	指導課
110		家庭教育学級の実施 ※再掲（連番No.166）	子育てに関する課題や子育ての悩み、親子の関わり方等について話し合える機会を提供するため、小・中学校のPTA及び幼稚園や保育園等の保護者会に対し、補助金を交付します。		社会教育推進事業	生涯学習課
111		学校・家庭・地域が連携した、子どもたちの学びの機会の充実 ※再掲（連番No.179）	子どもたちが地域社会の中で、心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進するため、市内全ての小学校で、様々な講座を実施します。		地域学校協働活動推進事業 会計年度任用職員給与費（社会教育指導員）	生涯学習課
112		放課後等学習支援「くさ木樹塾」の実施 ※再掲（連番No.49）	学習習慣の確立や学力の定着を目指し、放課後等学習支援「くさ木樹塾」を全中学校で実施します。 （10校各30回実施予定）		中学生学力アップ教育推進事業	指導課
113		地域学習の計画的・継続的な実施	地域学習の充実のため、総合的な学習の時間や特別活動の時間を通して、地域を学ぶ学習や地域の方に参加していただく学習を実施します。		コミュニティ・スクール事業	指導課

3 「チーム学校」による教育の質の向上と働き方改革の推進

連番	新規	取組み	取組みの概要	目標年度	予算書上の事業名	所管課名
114		スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー等の配置	課題の解決に求められる専門性や経験を補うため、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー等を配置し、教育活動の充実を図ります。		会計年度任用職員給与費（スクールソーシャルワーカー）	指導課
115		教育業務支援員（スクール・サポート・スタッフ）の配置	各学校に授業準備の補助等を行う教育業務支援員（スクール・サポート・スタッフ）を配置し、教員の勤務環境の改善を図ります。		会計年度任用職員給与費（スクール・サポート・スタッフ）	指導課
116		部活動指導員の配置	部活動の充実と教員の負担軽減のため、中学校に部活動指導員を配置します。		教育活動補助事業 会計年度任用職員給与費（部活動指導員）	指導課
117		休日の部活動の地域移行に向けた地域クラブ活動の推進	休日の部活動について、生徒にとって豊かなスポーツ・文化芸術活動実現のため、地域クラブの設置、指導員の任用等を推進します。		部活動地域移行推進事業	指導課
118		クラウド・バイ・デフォルトによる働き方改革の推進	働き方改革を推進するため、クラウドのメリットを生かした効率的な職場環境づくりと体制づくりを行います。		学校WAN維持管理事業	指導課

4 キャリアステージに応じた体系的な研修の実施

連番	新規	取組み	取組みの概要	目標年度	予算書上の事業名	所管課名
119		初任者研修会の実施	各学校の初任者教員を対象として、基礎的・基本的な資質の向上を図るため、研修会を実施します。		教職員研修事業	指導課
120		ミドルリーダー研修会の実施	各学校のミドルリーダー候補者を対象として、ミドルリーダーとしての自覚と責任感を醸成し、資質・能力の向上を図るため、研修会を実施します。		教職員研修事業	指導課
121		教員のキャリアステージやニーズに応じた研修の実施	教育委員会主催の年次研修や希望選択制の研修を通して、個々のキャリアステージやスキル・ニーズに応じ、教員一人ひとりが主体的に学べる機会を提供します。		教職員研修事業	指導課

■取組みの『見える化』

第3期計画期間

市教育委員会主催の研修に対する満足度「日々の校務に役立つ研修である」と肯定的な回答が得られた割合【指導課】		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	備考
	目標値			70.0%	75.0%	80.0%	85.0%	90.0% (第3期計画策定時数値)	参加教職員アンケート
	実績値	現状値なし (令和4年度調査開始)	86.5%	87.0%	87.5%	—	—	—	

※令和3年度は計画策定時の現状値として、令和4年度は実績値の推移として記載。

5 教職員健康診断を通じた心身の健康保持増進と疾病予防

連番	新規	取組み	取組みの概要	目標年度	予算書上の事業名	所管課名
122		教職員健康診断の実施	教職員健康診断を通じて、健康の保持増進を図り、疾病の未然防止に努めます。		教職員健康診断・健康管理事業	指導課
123		健康管理医の派遣	健康管理医が教職員一人ひとりに対して細やかな相談や指導を行います。		教職員健康診断・健康管理事業	指導課
124		ストレスチェックの実施	メンタルヘルスの不調を未然防止するため、教職員自身のストレスへの気づきを促す「ストレスチェック」を実施します。		教職員健康診断・健康管理事業	指導課



SDGsの取組み

4 質の高い教育をみんなに	地域との連携を深めるとともに、教職員の資質向上を図り、学校の教育力を向上します。	17 パートナーシップで目標を達成しよう	様々な関係者と連携し、各取組みを推進します。
----------------------	---	-----------------------------	-------------------------------

施策 5 児童生徒の安全確保と、安全教育を推進します

【施策の方向性】

地域や関係機関と連携し、学校内への不審者の侵入防止や、児童生徒の登下校時の安全確保を図ります。また、子どもたちが安全な生活を送るための資質・能力を身に付け、安全で安心な社会づくりに積極的に貢献できるよう、安全教育の充実を図ります。

1 防犯対策・交通安全対策の実施

連番	新規	取組み	取組みの概要	目標年度	予算書上の事業名	所管課名
125		スクールバスの運行	学校の統合等により、基準とする通学距離を超える児童生徒の通学時の安全を確保するため、スクールバスを運行します。 (運行している学校：江面小学校、菖蒲中学校)		児童生徒安全事業	教育総務課
126		防犯カメラの維持管理及び小学校安全監視員の配置	校内での教育活動中における不審者の侵入から児童生徒を守るため、各学校に設置した防犯カメラの適正な維持管理を行います。 また、小学校・義務教育学校（前期）に安全監視員を1名ずつ配置します。		児童生徒安全事業 会計年度任用職員給与費（小学校安全監視員）	教育総務課
127		市職員による通学路巡回パトロールの実施	児童生徒の下校時における防犯のため、市職員による通学路巡回パトロールを実施します。			教育総務課
128		防災行政無線による帰宅を促す放送の実施	児童生徒が安全に帰宅できるように、防災行政無線を活用し帰宅を促す放送を実施します。			教育総務課
129		不審者等に関する情報を関係機関に提供	不審者等の情報を共有するため、市内各学校や庁内関係部署等の不審者等に関する情報を提供します。			教育総務課
130		通学路の安全点検の実施、通学路の整備の推進	児童生徒の通学時の安全を確保するため、通学路の安全点検を実施します。 また、関係機関との連携を図り、通学路の整備を推進します。			教育総務課

■取組みの『見える化』

第3期計画期間

通学路の安全点検に保護者等が参加した学校の割合		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	備考
	目標値			75.1%	76.4%	77.6%	78.8%	80.0% (第3期計画策定時数値)	
【教育総務課】	実績値	72.7%	77.4%	80.6%	83.9%	—	—	—	

※令和3年度は計画策定時の現状値として、令和4年度は実績値の推移として記載。

2 交通安全教育の充実

連番	新規	取組み	取組みの概要	目標年度	予算書上の事業名	所管課名
131		交通安全教室の実施	警察等関係機関と連携した交通安全教室を、各学校で実施します。			指導課
132		学校安全教育の実践	児童生徒の発達段階に応じた学校安全教育を充実させ、各学校において交通安全に係る学習を計画的に実践します。			指導課

■取組みの『見える化』

第3期計画期間

警察等と連携した交通安全教室を実施している学校の割合		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	備考
【指導課】	目標値			100%	100%	100%	100%	100% (第3期計画策定時数値)	
	実績値	75.8%	93.5%	100%	100%	—	—	—	

※令和3年度は計画策定時の現状値として、令和4年度は実績値の推移として記載。

3 児童生徒の危機回避能力の育成

連番	新規	取組み	取組みの概要	目標年度	予算書上の事業名	所管課名
133		「自助」の力を育む実践的な災害対策訓練の実施支援	学校による実践的な対策訓練の計画的な実施を支援します。			指導課
134		「共助」の精神を育む安全教育の推進	AED使用法の学習や避難所設営訓練等、「助ける側」の視点をもった安全教育を実施するための教員向け研修会を実施します。			指導課

■取組みの『見える化』

第3期計画期間

災害図上訓練D I Gを実施している学校の割合		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	備考
【指導課】	目標値			40.3%	43.9%	45.2%	48.4%	50.0% (第3期計画策定時数値)	
	実績値	36.4%	38.7%	45.1%	58.0%	—	—	—	

※令和3年度は計画策定時の現状値として、令和4年度は実績値の推移として記載。

4 学校の危機管理体制の整備・充実

連番	新規	取組み	取組みの概要	目標年度	予算書上の事業名	所管課名
135		危機管理マニュアルの整備・改善	緊急の事態に備えるため、各学校における避難所開設にあたる緊急連絡体制や防災マニュアルの点検・整備・改善を行います。			指導課
136		学校における危機管理能力の向上	防災教育・防災管理を中心とした学校における危機管理能力の向上のため、教職員に対し、安全に関わる研修、情報交換の場を設定します。			指導課
137		命を守るための安全教育の向上	各学校の取組みを情報交換・共有し、優れた事例について情報を提供します。			指導課



SDG s の取組み

3 すべての人に健康と福祉を	児童生徒の安全を確保するため、通学路の安全点検を実施し、また、関係機関と連携を図り、通学路の整備を推進します。
17 パートナリシップで目標を達成しよう	様々な関係者と連携し、各取組みを推進します。

4 質の高い教育をみんなに	児童生徒が安全で安心な社会づくりに貢献できるよう、安全な生活を送るために必要な資質・能力を育みます。
----------------------	--

施策 6

学校の適正規模・適正配置と学校施設等の整備を推進します

【施策の方向性】

児童生徒のよりよい教育環境の整備充実と教育の質の更なる向上のため、小・中学校の適正規模・適正配置を推進するとともに、教育活動に必要な教材や備品の整備、学校 ICT の環境整備を図ります。また、学校施設の適切な維持管理及び計画的な整備に加え、再生可能エネルギー設備や省エネルギー機器の導入を推進します。

1 学校の適正規模・適正配置の推進

連番	新規	取組み	取組みの概要	目標年度	予算書上の事業名	所管課名
138		学校の統合等の検討に関する説明会の開催	学校の統合等の検討を進めるため、必要に応じ、保護者や地域住民を対象とした説明会を開催します。			学校施設課
139		市立小学校、中学校及び義務教育学校学区等審議会の開催	学校の統合等の適否について検討するため、市立小・中学校学区等審議会を開催します。		市立小学校、中学校及び義務教育学校学区等審議会運営事業	教育総務課

2 学校の教材・備品の計画的な点検・整備

連番	新規	取組み	取組みの概要	目標年度	予算書上の事業名	所管課名
140		学校教材・備品の計画的な整備の推進	各学校の現状に沿った教材・備品を整備するため、学校教材・備品の適正な管理及び廃棄を行います。		小学校教材整備事業 中学校教材整備事業 小学校維持管理事業 中学校維持管理事業 義務教育学校維持管理事業	教育総務課 学校施設課
141		学校図書館図書 of 適正な蔵書管理の実施	文部科学省が設定した「学校図書館図書標準」における充足率を達成するため、「久喜市学校図書館用図書の更新に関する指標」に基づき、適正な蔵書管理に努めます。		小学校教材整備事業 中学校教材整備事業	教育総務課 指導課
142		遊具等の安全対策の実施	児童生徒が遊具等を安全に使用できるよう、定期点検、臨時点検、日常点検を行い、その後修繕等を計画的に実施します。		児童生徒安全事業	教育総務課

■取組みの『見える化』

第 3 期 計 画 期 間

学校図書館図書標準を達成している学校の割合	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	備考
目標値			97.7%	98.3%	98.8%	99.4%	100% (第3期計画策定時数値)	
【教育総務課】 実績値	96.6%	93.1%	83.9%	93.5%	—	—	—	

※令和3年度は計画策定時の現状値として、令和4年度は実績値の推移として記載。

3 学校 ICT 環境の整備

連番	新規	取組み	取組みの概要	目標年度	予算書上の事業名	所管課名
143		大型提示装置の整備	整備した大型提示装置の適正な管理及び更新を行います。		情報教育機器維持管理事業（小学校費、中学校費）	指導課

■取組みの『見える化』

第 3 期 計 画 期 間

児童生徒及び教職員に対する学習者用端末、教職員用端末配置割合	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	備考
目標値			児童生徒100% 教職員100%	児童生徒100% 教職員100%	児童生徒100% 教職員100%	児童生徒100% 教職員100%	児童生徒100% 教職員100% (第3期計画策定時数値)	
【指導課】 実績値	児童生徒100% 教職員79.9%	児童生徒100% 教職員95.7%	児童生徒100% 教職員95.8%	児童生徒100% 教職員100%	—	—	—	

普通教室及び特別教室に対する大型提示装置配置割合	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	備考
目標値			普通教室100% 特別教室72.6%	普通教室100% 特別教室89.2%	普通教室100% 特別教室100%	普通教室100% 特別教室100%	普通教室100% 特別教室100% (第3期計画策定時数値)	
【指導課】 実績値	普通教室100% 特別教室0%	普通教室100% 特別教室38.7%	普通教室100% 特別教室60.8%	普通教室100% 特別教室74.8%	—	—	—	

※令和3年度は計画策定時の現状値として、令和4年度は実績値の推移として記載。

4 学校施設の非構造部材の耐震化の推進

連番	新規	取組み	取組みの概要	目標年度	予算書上の事業名	所管課名
—		非構造部材の耐震化の実施	校舎、屋内運動場における非構造部材の耐震化を実施することにより、安全で安心できる学習環境を確保するとともに、避難所としての防災機能を強化します。 ※令和7年度をもって全小・中学校が完了。			学校施設課

■取組みの『見える化』

第3期計画期間

校舎及び屋内運動場の非構造部材の耐震化をした施設の割合※		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	備考
目標値				77.8%	88.9%	100%	100%	100% (第3期計画策定時数値)	
【学校施設課】	実績値	59.5%	61.6%	77.8%	88.9%	—	—	—	

※1 令和3年度は計画策定時の現状値として、令和4年度は実績値の推移として記載。

※2 校舎の非構造部材の耐震化は、平成30年度までに完了している。

5 学校施設の大規模改造

連番	新規	取組み	取組みの概要	目標年度	予算書上の事業名	所管課名
144		学校施設の大規模改造の実施	校舎の外壁、屋上防水及びトイレの改修などの大規模改修工事を実施し、安全で快適な学習環境を確保します。 ・工事 (小学校) 桜田小学校 (中学校) 栗橋西中学校	R8	学校施設大規模改造事業	学校施設課

■取組みの『見える化』

第3期計画期間

校舎の大規模改造工事に着手した学校数		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	備考
目標値				6校	8校	8校	10校	10校 (第3期計画策定時数値)	延べ着手校数
【学校施設課】	実績値	4校	4校	6校	8校	—	—	—	

※令和3年度は計画策定時の現状値として、令和4年度は実績値の推移として記載。



SDG s の取組み



学校の適正規模・適正配置を推進することなどにより、次代を担う子ども達に充実した教育環境を整備します。



様々な関係者と連携し、各取組みを推進します。

施策 7 児童生徒の健康づくりを推進します

【施策の方向性】

運動機会と学校保健の取組みの充実を図るとともに、学校給食や学校ファームの取組みを通して食育を推進します。また、食物アレルギー対応の充実を図るとともに地産地消を推進し、安全で安心なおいしい学校給食を提供します。

1 学校体育の充実

連番	新規	取組み	取組みの概要	目標年度	予算書上の事業名	所管課名
145		児童生徒の体力に係る課題解決に向けた指導の工夫と改善	児童生徒の体力向上を図るため、体力向上推進委員会を開催し、課題を周知し、報告書の作成、実践発表会を行います。			指導課
146		児童生徒の体力の向上を目指した体育授業づくりの支援	教員の指導力向上のため、新体力テストの分析結果に基づいた指導・助言を行うとともに、研究委嘱校における研究成果を市内各学校に周知したり、研究授業を実施したりします。			指導課

■取組みの『見える化』

第 3 期 計 画 期 間

		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	備考
新体力テストの5段階絶対評価で上位3ランクの児童生徒の割合	目標値			小 86.0% 中 84.5%	小 87.0% 中 86.0%	小 88.0% 中 87.5%	小 89.0% 中 89.0%	小 90.0% 中 90.0% (第3期計画策定時数値)	
	実績値	小 83.2% 中 81.6%	小 82.2% 中 79.9%	小 81.0% 中 81.0%	小 79.5% 中 80.9%	—	—	—	

※令和3年度は計画策定時の現状値として、令和4年度は実績値の推移として記載。

2 学校保健の充実

連番	新規	取組み	取組みの概要	目標年度	予算書上の事業名	所管課名
147		「食」に関する指導の推進	「食」の大切さを学ぶため、各学校において、学校ファームを活用し、栄養教諭等と連携した学習指導の工夫と改善を図ります。			指導課

連番	新規	取組み	取組みの概要	目標年度	予算書上の事業名	所管課名
148		新型コロナウイルス感染症等の感染症予防につながる取組みの推進	児童生徒に生涯を通じて感染症の予防に必要な資質・能力を育むため、養護教諭や学校医、地域の関係諸機関と連携した学習を実施します。			教育総務課
149		学校保健計画の作成及び実践	児童生徒の健康保持増進のため、各学校において学校保健計画に基づいた保健指導、保健管理を実施します。			指導課
150		児童生徒の健康保持増進の推進	児童生徒の健康保持増進のため、定期健康診断や結核まん延国からの転入者に対する結核検診を実施します。また、健康に生活できる学校環境を維持するため、各種の環境衛生検査等を実施します。		児童生徒等健康診断・健康管理事業 学校環境衛生事業	教育総務課

■取組みの『見える化』

第 3 期 計 画 期 間

朝食を毎日食べている児童生徒の割合		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	備考
	目標値			小 96.0% 中 94.0%	小 97.0% 中 95.0%	小 98.0% 中 97.0%	小 99.0% 中 98.5%	小 100% 中 100% (第3期計画策定時数値)	
【指導課】	実績値	小 95.6% 中 90.0%	小 96.8% 中 88.9%	小 96.9% 中 90.1%	小 97.8% 中 90.2%	—	—	—	市独自アンケート調査

※令和3年度は計画策定時の現状値として、令和4年度は実績値の推移として記載。

3 安全・安心でおいしい学校給食の提供

連番	新規	取組み	取組みの概要	目標年度	予算書上の事業名	所管課名
151		おいしい学校給食の提供	栄養バランスの取れた安全・安心でおいしい学校給食を提供するため、積極的な手づくり調理等を行い、献立の充実を図ります。また、栄養管理を適切に行うとともに食材の安全確保に努めます。		学校給食運営事業	学校給食課
152		地産地消の推進	地産地消を推進するため、地元で採れる新鮮で安全・安心な農産物をより多く取り入れた献立を提供します。		学校給食運営事業	学校給食課
153		食物アレルギー対応の充実	食物アレルギー対応の充実を図るとともに、学校等と連携し、より安全な運営体制を構築します。		学校給食運営事業	学校給食課
154		学校給食を活用した食育の推進	食への理解を深めるため、季節の食材、行事食、郷土料理等を取り入れた学校給食を提供します。また、望ましい食生活への知識の普及・啓発を図るため、学校給食を生きた教材として活用するとともに、予定献立表や給食だより等を配布するなど学校給食に関する情報発信を行います。		学校給食運営事業	学校給食課

連番	新規	取組み	取組みの概要	目標年度	予算書上の事業名	所管課名
155		衛生管理の徹底	衛生管理を徹底するため、施設の点検、食品の検査及び学校給食調理従事者への衛生管理指導を行います。		学校給食運営事業	学校給食課

■取組みの『見える化』

第3期計画期間

		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	備考
学校給食がおいしいと感じている児童生徒の割合	目標値			100%	100%	100%	100%	100% (第3期計画策定時数値)	児童生徒アンケート調査
	実績値	92.3%※ (令和4年度)	92.6%	94.3%	94.6%	—	—	—	
		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	備考
学校給食における久喜市産農産物の使用割合	目標値			26.0%	27.0%	28.0%	29.0%	30.0% (第3期計画策定時数値)	
	実績値	18.3%	28.7%	26.9%	32.6%	—	—	—	

※1 令和3年度は計画策定時の現状値として、令和4年度は実績値の推移として記載。

※2 現状値は、令和4（2022）年4月に実施したアンケート結果。

※第3期久喜市教育振興基本計画における各施策の「主な取組み」以外の取組み

連番	新規	取組み	取組みの概要	目標年度	予算書上の事業名	所管課名
156		学校給食費補助の実施	保護者の経済的負担を軽減し、子育て支援を推進するため、3人目以降の児童生徒の学校給食費を全額補助します。		学校給食費補助事業	学校給食課



SDGsの取組み

 2 飢餓をゼロに	栄養バランスの取れた安全・安心でおいしい学校給食を安定的に提供していきます。	 3 すべての人に健康と福祉を	児童生徒の健康保持増進のため、定期健康診断等を実施します。
 4 質の高い教育をみんなに	体育・保健指導を充実し、児童生徒が健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するために必要な資質・能力を育みます。	 12 つくる責任 つかう責任	学校給食における久喜市産農産物の使用を推進するとともに、食育の充実を図り、食品ロスを減らします。
 17 パートナシップで目標を達成しよう	様々な関係者と連携し、各取組みを推進します。		

基本目標3

地域に根差した生涯にわたる学びを進め郷土の歴史文化を大切にする

市民が生涯にわたり生きがいを持って暮らせるよう、地域で学ぶ機会や、学びの成果を地域社会で発揮する環境を整えます。

また、本市の貴重な文化財等を保存・活用し、郷土への愛着を深め、次世代に継承します。

施策 1

生涯にわたり学び続けるための環境をつくりま
す

【施策の方向性】

市民大学、高齢者大学及び生涯学習推進部の活動拠点として令和4（2022）年3月に開所した生涯学習施設（まなびすポット）を中心に、市民の多様なニーズに対応した学習内容や発表機会を設け、生涯にわたる学びを充実します。また、多様な主体が連携・協働し、ともに学び合うことで地域における豊かな学びを推進し、生きがいを感じることでできる生涯学習環境を整備します。

市民大学、高齢者大学については、両大学の講座等の内容を充実させ、入学者の確保に努めます。放課後子ども教室（ゆうゆうプラザ）では、様々な体験を通じて、子どもたちが心豊かで健やかに育まれるよう運動や文化芸術、交流活動等の機会を提供します。

市立図書館においては、指定管理者制度のもと、質の高い図書館サービスを提供します。

1 多彩な生涯学習機会の提供

連番	新規	取組み	取組みの概要	目標年度	予算書上の事業名	所管課名
157		子ども大学くきの実施	高等教育機関、久喜青年会議所等と連携して、小学4年生から6年生を対象に、魅力ある講義や体験的な活動を実施し、子どもの知的好奇心を刺激する学びの機会を提供します。		社会教育推進事業	生涯学習課
158		生涯学習出前講座の実施	市政への理解及び協力を促し、生涯学習によるまちづくりを推進するため、市民団体などが主催する学習会等へ講師を派遣し、市政運営全般のほか、各種専門的な知識を生かした講座を実施します。		生涯学習推進事業	生涯学習課
159		生涯学習出前講座を活用した市民向け公開講座の実施	市民のニーズに合わせ、生涯学習活動を支援することを目的とした出前講座を生涯学習施設「まなびすポット」で実施します。 （3回開催予定）		生涯学習推進事業	生涯学習課
160		市民大学講座の充実 ※再掲（連番No.174）	生涯学習及びボランティア活動への理解を深め、まちづくりのリーダー育成のため、基礎講座や教養講座等、学習機会の充実を図ります。 学生のニーズをより踏まえた内容となるよう、講座終了後にアンケートを実施します。		市民大学推進事業 会計年度任用職員 給与費（社会教育 指導員）	生涯学習課
161		市民大学公開講座の充実 ※再掲（連番No.175）	市民大学の周知を図るため、各地区において、学生以外の方も聴講できる地域に根ざした公開講座を実施します。 （12回開催予定）		市民大学推進事業 会計年度任用職員 給与費（社会教育 指導員）	生涯学習課
162		高齢者大学講座の充実 ※再掲（連番No.176）	趣味活動や社会参加による生きがいを高めるため、健康づくりや環境問題、介護問題など、実生活に即した学習の充実を図ります。 また、講座終了後にアンケートを実施し、学生のニーズも踏まえた内容となるよう充実を図ります。		高齢者大学推進事業 会計年度任用職員 給与費（社会教育 指導員）	生涯学習課

連番	新規	取組み	取組みの概要	目標年度	予算書上の事業名	所管課名
163		高齢者大学における学校行事・自主活動の充実 ※再掲（連番No.177）	学生相互の交流をより一層図るため、体育祭や作品展示会、体験発表会、音楽芸能祭等を実施します。 また、社会参加を推奨するため、クラブ活動やボランティア活動等の自主活動を奨励します。		高齢者大学推進事業 会計年度任用職員給与費（社会教育指導員）	生涯学習課
164		生涯学習人材バンクの活用の促進	市民の学習ニーズに応えるため、豊富な知識や優れた技術を持った方に生涯学習の指導者として登録していただき、要望に応じて人材を紹介します。		生涯学習推進事業	生涯学習課
165		生涯学習人材バンクを活用した市民向け公開講座の実施	生涯学習の振興及び市民の学習活動を支援し、生涯学習人材バンクの周知を図るため、市民向けの公開講座を生涯学習施設「まなびすポット」で実施します。 （4回開催予定）		生涯学習推進事業	生涯学習課
166		家庭教育学級の実施 ※再掲（連番No.110）	子育てに関する課題や子育ての悩み、親子の関わり方等について話し合える機会を提供するため、小・中学校のPTA及び幼稚園や保育園等の保護者会に対し、補助金を交付します。		社会教育推進事業	生涯学習課
167		子育て講座（親の学習）の実施	子育て中の親を対象に、子育てに必要な知識やスキルを学ぶ機会の提供や意見交換のできる場の充実を図ります。		社会教育推進事業	生涯学習課
168		埼玉県家庭教育アドバイザーによる子育て支援の推進	子どもの健やかな成長を支援するため、「久喜市家庭教育支援チーム」（名称：ほっとほーむ）による子育てサロン等を実施します。 （定例会3回・サロン3回開催予定）		生涯学習推進事業	生涯学習課
169		生涯学習情報紙「まなびすと久喜」の発行	「自分づくり・仲間づくり・まちづくり」の学習情報を、広く市民に提供するため、「まなびすと久喜」を発行します。 （2回発行・広報紙折込みで全戸配布予定）		生涯学習推進事業	生涯学習課
170		生涯学習研修大会「まなびすとフォーラム」の実施	様々な生涯学習に取り組んでいる市民が、コミュニティづくりの理解を深めるとともに、その実践を促進するため、一同に集い意見交換・発表を行うフォーラムを実施します。		生涯学習推進事業	生涯学習課
171		生涯学習推進大会「まなびすと久喜」の実施	市民や様々な団体が、日ごろの学習成果を発表したり交流するため、子どもから高齢者まで市民が集う生涯学習推進大会を実施します。		生涯学習推進事業	生涯学習課
172		社会教育関係団体の補助金交付	社会教育関係団体の円滑な運営、活動の活性化を図るため補助金を交付します。 （補助金対象7団体予定）		社会教育団体他補助事業	生涯学習課
173		生涯学習施設「まなびすポット」の活用 ※再掲（連番No.178）	生涯学習施設「まなびすポット」を活用し、市民の多様なニーズに対応した生涯学習事業を実施します。		生涯学習推進事業	生涯学習課

■取組みの『見える化』

第 3 期 計 画 期 間

		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	備考
生涯学習関連の講座・教室の参加者数	目標値			14,800人	15,000人	15,300人	15,600人	16,000人 (第3期計画策定時数値)	・市民大学学生数 ・高齢者大学学生数 ・子ども大学学生数
	実績値	★ 4,930人	7,155人	7,252人	8,970人	—	—	—	・図書館で開催の講座参加者数 ・社会教育事業(公民館事業)参加者数 ★J1の影響あり J17禍前 15,208人 (平成30年度)
子ども大学くき参加児童の満足度		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	備考
【生涯学習課】	目標値			98.0%	98.5%	99.0%	99.5%	100% (第3期計画策定時数値)	参加児童アンケート
	実績値	97.1%	96.4%	95.7%	99.1%	—	—	—	
生涯学習出前講座の利用件数		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	備考
【生涯学習課】	目標値			20件	22件	24件	27件	30件 (第3期計画策定時数値)	
	実績値	16件	25件	47件	78件	—	—	—	
生涯学習人材バンクの登録者数		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	備考
【生涯学習課】	目標値			215人	220人	225人	228人	230人 (第3期計画策定時数値)	
	実績値	207人	181人	184人	190人	—	—	—	
家庭教育学級の実施団体数		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	備考
【生涯学習課】	目標値			18団体	22団体	26団体	30団体	35団体 (第3期計画策定時数値)	★コロナの影響あり コロナ禍前 31団体 (令和元年度)
	実績値	★ 10団体	13団体	17団体	16団体	—	—	—	
子育て講座「親の学習」の実施校(小学校)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	備考
【生涯学習課】	目標値			全小学校	全小学校	全小学校	全小学校	全小学校 (第3期計画策定時数値)	
	実績値	全小学校	全小学校	全小学校	全小学校	—	—	—	

生涯学習研修大会 （まなびすと フォーラム）の参 加者数		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	備考
【生涯学習課】	目標値			50人	100人	150人	175人	200人 （第3期計画 策定時数値）	★コロナの 影響あり コロナ禍前 173人 （令和元年度）
	実績値	★ 中止 ※2	★ 中止 ※2	85人	93人	—	—	—	
生涯学習推進大会 （まなびすと久 喜）の参加者数		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	備考
【生涯学習課】	目標値			750人	1,000人	1,500人	2,100人	2,700人 （第3期計画 策定時数値）	★コロナの 影響あり コロナ禍前 2,600人 （令和元年度）
	実績値	★ 中止 ※2	★ 1,200人	1,300人	900人	—	—	—	

※1 令和3年度は計画策定時の現状値として、令和4年度は実績値の推移として記載。

※2 令和3・4年度は新型コロナウイルス感染症の影響で中止。

2 市民大学・高齢者大学の充実

連番	新規	取組み	取組みの概要	目標 年度	予算書上の事業名	所管課名
174		市民大学講座の充実 ※再掲（連番No.160）	生涯学習及びボランティア活動への理解を深め、まちづくりのリーダー育成のため、基礎講座や教養講座等、学習機会の充実を図ります。 学生のニーズをより踏まえた内容となるよう、講座終了後にアンケートを実施します。		市民大学推進事業 会計年度任用職員 給与費（社会教育 指導員）	生涯学習課
175		市民大学公開講座の充実 ※再掲（連番No.161）	市民大学の周知を図るため、各地区において、学生以外の方も聴講できる地域に根ざした公開講座を実施します。 （12回開催予定）		市民大学推進事業 会計年度任用職員 給与費（社会教育 指導員）	生涯学習課
176		高齢者大学講座の充実 ※再掲（連番No.162）	趣味活動や社会参加による生きがいを高めるため、健康づくりや環境問題、介護問題など、実生活に即した学習の充実を図ります。 また、講座終了後にアンケートを実施し、学生のニーズも踏まえた内容となるよう充実を図ります。		高齢者大学推進事業 会計年度任用職員 給与費（社会教育 指導員）	生涯学習課
177		高齢者大学における学 校行事・自主活動の充 実 ※再掲（連番No.163）	学生相互の交流をより一層図るため、体育祭や作品展示会、体験発表会、音楽芸能祭等を実施します。 また、社会参加を推奨するため、クラブ活動やボランティア活動等の自主活動を奨励します。		高齢者大学推進事業 会計年度任用職員 給与費（社会教育 指導員）	生涯学習課
178		生涯学習施設「まなび すポット」の活用 ※再掲（連番No.173）	生涯学習施設「まなびすポット」を活用し、市民の多様なニーズに対応した生涯学習事業を実施します。		生涯学習推進事業	生涯学習課

■取組みの『見える化』

第 3 期 計 画 期 間

		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	備考
市民大学入学者数	目標値			15人	17人	20人	23人	25人 (第3期計画 策定時数値)	
	実績値	16人	13人	11人	10人	—	—	—	
		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	備考
市民大学の講座に 対する満足度	目標値			72.0%	75.0%	80.0%	85.0%	90.0% (第3期計画 策定時数値)	学生アン ケート
	実績値	現状値なし (令和4年度 調査開始)	84.0%	91.5%	90.6%	—	—	—	
		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	備考
高齢者大学入学者 数	目標値			52人	54人	56人	58人	60人 (第3期計画 策定時数値)	
	実績値	36人	52人	49人	64人	—	—	—	
		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	備考
高齢者大学の講座 に対する満足度	目標値			72.0%	75.0%	80.0%	85.0%	90.0% (第3期計画 策定時数値)	学生アン ケート
	実績値	現状値なし (令和4年度 調査開始)	88.1%	89.2%	87.6%	—	—	—	

※令和3年度は計画策定時の現状値として、令和4年度は実績値の推移として記載。

3 放課後子ども教室（ゆうゆうプラザ）の推進

連番	新規	取組み	取組みの概要	目標 年度	予算書上の事業名	所管課名
179		学校・家庭・地域が連携した、子どもたちの学びの機会の充実 ※再掲（連番No.111）	子どもたちが地域社会の中で、心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進するため、市内全ての小学校で、様々な講座を実施します。		地域学校協働活動 推進事業 会計年度任用職員 給与費（社会教育 指導員）	生涯学習課
180		安全・安心な活動拠点の確保	安全・安心な活動ができるよう、放課後子ども教室（ゆうゆうプラザ）の運営委員会や各実施委員会において、安全指導・安全管理の研修会等を実施します。 （1回開催予定）		地域学校協働活動 推進事業 会計年度任用職員 給与費（社会教育 指導員）	生涯学習課
181		放課後児童対策パッケージに基づく取組の推進	放課後児童クラブを担当することも未来部と連携し、国の「放課後児童対策パッケージ2025」に基づく取組みを推進します。 （運営委員会定例会4回開催予定）		地域学校協働活動 推進事業 会計年度任用職員 給与費（社会教育 指導員）	生涯学習課

■取組みの『見える化』

第 3 期 計 画 期 間

放課後子ども教室 (ゆうゆうプラザ)の参加児童の割合		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	備考
	目標値			37.0%	39.0%	41.0%	43.0%	45.0% (第3期計画策定時数値)	
【生涯学習課】	実績値	35.0%	38.5%	43.9%	42.7%	—	—	—	
実施委員及びサポーター数		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	備考
	目標値			2,250人	2,300人	2,375人	2,450人	2,500人 (第3期計画策定時数値)	
【生涯学習課】	実績値	1,917人	2,176人	2,185人	2,360人	—	—	—	

※令和3年度は計画策定時の現状値として、令和4年度は実績値の推移として記載。

4 社会教育事業（公民館事業）の充実

連番	新規	取組み	取組みの概要	目標年度	予算書上の事業名	所管課名
182		公民館事業の実施	多様化、高度化する市民ニーズや地域課題に対応するとともに、市民の主体的な学習活動を支援するため、各地区の公民館事業運営委員会や学校、地域等と連携を図り、公民館事業を実施します。		公民館事業推進事業	生涯学習課
183		公民館事業連絡協議会による事業の実施	多様化、高度化する市民ニーズや市全体の課題に対応するとともに、市民の主体的な学習活動を支援するため、市民企画事業を含めた公民館事業連絡協議会による事業を実施します。		公民館事業推進事業	生涯学習課
184		市民体育祭の実施	誰もが気軽にスポーツ・レクリエーションに参加できる機会を提供し、地域コミュニティの醸成を図るため、各地区の公民館事業運営委員会や学校、地域等と連携を図り、市民体育祭を実施します。		市民体育祭事業	生涯学習課

■取組みの『見える化』

第 3 期 計 画 期 間

社会教育事業（公民館事業）数		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	備考
	目標値			90事業	90事業	90事業	90事業	90事業 (第3期計画策定時数値)	★コロナの影響あり コロナ禍前 90事業 (平成30年度)
【生涯学習課】	実績値	★50事業	65事業	91事業	91事業	—	—	—	

※令和3年度は計画策定時の現状値として、令和4年度は実績値の推移として記載。

5 図書館サービスの充実

連番	新規	取組み	取組みの概要	目標年度	予算書上の事業名	所管課名
185		市民に伝える図書館の推進	多様な資料や情報を積極的に収集し、市民に分かりやすい情報を提供します。 ・資料の充実 ・郷土資料の充実 ・行政資料の収集 ・埼玉県立図書館・他自治体図書館等との連携		図書館管理運営事業	生涯学習課
186		市民を支える図書館の推進	市民が生活する上で必要な情報を適切な方法で提供し、様々な相談や課題を解決できる情報拠点を目指します。 ・課題解決型支援の充実 ・職員の資質、能力の向上 ・高齢者や障がい者、外国人など配慮を要する人に対する支援 ・市内で活動する人、団体等への活動支援		図書館管理運営事業	生涯学習課
187		市民が集う図書館の推進	久喜市に住み、働き、学び、活動する様々な人々が、それぞれの目的に応じ図書館を活用できるよう支援します。 ・魅力ある事業の実施 ・多様な学習機会の提供 ・市民との協働		図書館管理運営事業	生涯学習課
188		子どもの成長を応援する図書館の推進	子どもの成長過程に応じたサービスを提供することで、子どもの読書環境の充実と活動支援をします。 ・子どもたちの読書環境の充実 ・子どもたちの読書活動への支援 ・学校等との連携		図書館管理運営事業	生涯学習課
189		ICTの利活用	情報提供の高度化・迅速化に対応できるよう設備を充実させ、ICTの更なる活用を進めます。 ・市民への情報発信 ・インターネット利用環境の整備 ・データベースを利用した情報検索 ・久喜市電子図書館の充実		図書館管理運営事業	生涯学習課
190		図書館環境の整備	計画的な修繕により、快適で利用しやすい図書館づくりを行います。 ・施設、設備の改修 ・管理運営体制の確認 ・多様な読書環境の整備 ・探しやすい資料配置		図書館管理運営事業	生涯学習課

■取組みの『見える化』

第 3 期 計 画 期 間

		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	備考
人口1人当たりの 図書（電子書籍含 む）貸出冊数	目標値			5.46冊	5.50冊	5.54冊	5.58冊	5.62冊 （第3期計画 策定時数値）	
	実績値	4.93冊	4.85冊	5.05冊	4.97冊	—	—	—	
		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	備考
レファレンスに対 する利用満足度	目標値			56.0%	57.0%	58.0%	59.0%	60.0% （第3期計画 策定時数値）	
	実績値	54.4%	50.5%	47.7% （94.2%）	46.4% （90.5%）	—	—	—	利用者ア ンケート

※1 令和3年度は計画策定時の現状値として、令和4年度は実績値の推移として記載。

※2 レファレンスに対する利用満足度の令和5年度以降の（ ）の実績値は、レファレンスを利用したことが
ない者を除いた、レファレンスを実際に利用したことのある者の実利用満足度を記載。



SDG s の取組み

 4 質の高い教育を みんなに	一人ひとりが生涯にわたって、だれでも、いつでも、どこでも、主体的に学び続けることのできる環境をつくります。	 12 つくも責任 つかう責任	持続可能な生産消費形態の確保について理解を深められるよう、生涯にわたって学び続けることのできる環境をつくります。
 17 パートナリープで 目標を達成しよう	様々な関係者と連携し、各取組みを推進します。		

施策 2 年代を問わず文化芸術に親しむ機会を充実します

【施策の方向性】

文化芸術に親しむことができる機会の充実を図るため、文化芸術団体等と協力・連携し、多様な文化振興事業を企画・実施します。

また、市民が文化芸術の楽しさやすばらしさに触れるとともに、文化芸術活動に生きがいを持つことができるよう、文化芸術の鑑賞や成果発表の機会を幅広い世代へ提供します。

さらに、文化芸術団体の活動支援や、文化芸術に関する情報発信の充実を図ります。

1 文化芸術に親しむことができる機会の充実

連番	新規	取組み	取組みの概要	目標年度	予算書上の事業名	所管課名
191		美術展（絵画等・書・写真）の実施	文化芸術団体等の活動の成果発表及び市民への鑑賞の機会を提供するため、久喜市美術展（絵画・彫刻・工芸、書、写真の3部制）を開催します。		文化振興事業	文化振興課
192		市民芸術祭の実施	文化芸術団体の表現芸術の成果発表と併せて市民への鑑賞の機会を提供するため、市民芸術祭を開催します。		文化振興事業	文化振興課
193		吹奏楽フェスティバルの実施	市内中学校、高等学校の吹奏楽部及び社会人吹奏楽団を主とする団体の活動の成果発表の機会を提供するとともに、市民へ良質な音楽鑑賞の機会を提供するため、吹奏楽フェスティバルを開催します。		文化振興事業	文化振興課
194		街かどコンサートの実施	音楽文化の創造、発信、交流に取組むとともに、市民へ音楽の豊かさや楽しさに触れる機会を提供するため、街かどコンサートを開催します。		文化振興事業	文化振興課

■取組みの『見える化』

第 3 期 計 画 期 間

		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	備考
久喜市美術展出品者数	目標値			400人	420人	430人	440人	450人 (第3期計画策定時数値)	★コロナの影響あり コロナ禍前 354人 (令和元年度)
	実績値	★317人	309人	299人	292人	—	—	—	
		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	備考
久喜市美術展入場者数	目標値			2,000人	2,200人	2,400人	2,600人	2,800人 (第3期計画策定時数値)	★コロナの影響あり コロナ禍前 1,739人 (令和元年度)
	実績値	★1,369人	1,306人	1,336人	1,130人	—	—	—	

		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	備考
市民芸術祭入場者数 【文化振興課】	目標値			800人	850人	900人	950人	1,000人 (第3期計画 策定時数値)	★コロナの影響あり コロナ禍前 622人 (令和元年度)
	実績値	★1,040回 ※2	279人	318人	383人	—	—	—	
		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	備考
吹奏楽フェスティバル入場者数 【文化振興課】	目標値			2,000人	2,200人	2,400人	2,600人	2,800人 (第3期計画 策定時数値)	★コロナの影響あり コロナ禍前 2,721人 (令和元年度)
	実績値	★7,776回 ※2	2,814人 ※3	1,630人	1,575人	—	—	—	
		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	備考
街かどコンサートの実施回数 【文化振興課】	目標値			8回	8回	9回	9回	9回 (第3期計画 策定時数値)	★コロナの影響あり コロナ禍前 9回 (令和元年度)
	実績値	★3回	8回	8回	8回	—	—	—	

※1 令和3年度は計画策定時の現状値として、令和4年度は実績値の推移として記載。

※2 新型コロナウイルス感染症の影響によりオンラインにて開催したため、動画再生回数を掲載した。
(令和4年3月末時点の再生回数)

※3 入場者数とインターネットライブ配信視聴者数の合計。

2 文化芸術の情報発信の充実

連番	新規	取組み	取組みの概要	目標年度	予算書上の事業名	所管課名
195		情報発信の充実	市民が文化芸術に親しむ機会を提供するため、様々な方法で情報発信を行います。 また、情報発信を行う際は、学校や関係部署等とも連携を図ります。 ・広報紙や市ホームページへの情報掲載 ・公共施設へのチラシ等の配架 ・久喜市公式SNSでの発信 ・学校や商業施設等へのポスターの掲示やチラシ等の配架		文化振興事業	文化振興課



SDGsの取組み



文化の多様性を保護・促進します。また、年代を問わず文化芸術に親しむ機会を充実します。



様々な関係者と連携し、各取組みを推進します。

施策 3 文化財の保存・継承を通じて郷土愛を育みます

【施策の方向性】

貴重な文化財を次世代に継承するため、保存や後継者育成等の活動を支援します。また、文化財調査によって得られた成果は、可能な限り刊行物等を通じて積極的に発信するとともに、所有者等や関係団体とも連携して活用します。

さらに、市民が郷土の歴史や文化を再発見・再認識できるよう、郷土資料館での展示の実施や、展示解説図録の刊行等を充実します。

1 地域文化資源の発掘

連番	新規	取組み	取組みの概要	目標年度	予算書上の事業名	所管課名
196		文化財の調査	地域文化資源を発掘・活用するため、必要な学術的調査を行います。		文化財保護事業	文化振興課

■取組みの『見える化』

第 3 期 計 画 期 間

市指定文化財の指定件数		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	備考
	目標値			74件	75件	75件	75件	76件 (第3期計画策定時数値)	
【文化振興課】	実績値	74件	74件	74件	75件	—	—	—	

※令和3年度は計画策定時の現状値として、令和4年度は実績値の推移として記載。

2 文化財の保存・継承

連番	新規	取組み	取組みの概要	目標年度	予算書上の事業名	所管課名
197		指定文化財の管理等に関する補助等	市内にある指定文化財の所有者又は管理者の管理等を支援するため、補助金又は交付金を交付します。		文化財保護事業	文化振興課
198		郷土伝統芸能の伝承活動支援	郷土伝統芸能の後継者育成を支援するため、伝承活動を行う団体に指導者謝金を交付します。		文化財保護事業	文化振興課
199		埋蔵文化財の保護	開発から埋蔵文化財を保護するため、県の指導を受けながら必要に応じて試掘調査や発掘調査を行います。		埋蔵文化財保護事業	文化振興課
200		鷺宮催馬楽神楽伝承教室の開催	国の重要無形民俗文化財である鷺宮催馬楽神楽の後継者の育成を推進するため、教育委員会主催の伝承教室を開催します。		郷土資料館運営事業	文化振興課

■取組みの『見える化』

第 3 期 計 画 期 間

郷土伝統芸能後継者育成活動の実施回数		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	備考
目標値				381回	382回	383回	384回	385回 (第3期計画策定時数値)	★コロナの影響あり コロナ禍前 385回 (令和元年度)
【文化振興課】	実績値	★ 78回	239回	240回	330回	—	—	—	

※令和3年度は計画策定時の現状値として、令和4年度は実績値の推移として記載。

3 文化財の活用

連番	新規	取組み	取組みの概要	目標年度	予算書上の事業名	所管課名
201		指定文化財説明板の設置等	指定文化財を周知するとともに、所在地での活用を推進するため、説明板の設置・更新等を行います。		文化財保護事業	文化振興課
202		市指定文化財「吉田家水塚」の公開	市指定文化財「吉田家水塚」の役割等を周知するため、同文化財を適切に公開します。 (日曜日公開)		市指定文化財「吉田家水塚」運営事業	文化振興課
203		「本多静六通信」の発行及びゆかりの地への訪問	郷土の偉人である本多静六博士の功績等を紹介するため、「本多静六通信」の発行及びゆかりの地訪問を行います。 (通信の発行 1回予定) (ゆかりの地訪問 1回予定)		本多静六博士顕彰事業	文化振興課

■取組みの『見える化』

第 3 期 計 画 期 間

市指定文化財「吉田家水塚」の見学者数		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	備考
目標値				900人	1,000人	1,100人	1,200人	1,300人 (第3期計画策定時数値)	★コロナの影響あり コロナ禍前 1,604人 (令和元年度)
【文化振興課】	実績値	★ 682人	603人	809人	693人	—	—	—	

※令和3年度は計画策定時の現状値として、令和4年度は実績値の推移として記載。

4 郷土資料館の充実

連番	新規	取組み	取組みの概要	目標年度	予算書上の事業名	所管課名
204		特別展等の開催	本市の特徴的な歴史を市民等に紹介するため、常設展のほか、毎年テーマを決めて特別展や収蔵品展その他の展示を開催します。 (特別展 1回開催予定)		郷土資料館運営事業 郷土資料館特別展事業	文化振興課
205		歴史講座等の開催	本市の歴史に対する関心と郷土に対する愛着心を醸成するため、特別展開連講座や歴史講座等の講座を開催します。		郷土資料館運営事業 郷土資料館特別展事業	文化振興課
206		古文書学習会の開催	市民の生涯学習活動を支援するとともに、古文書を通して地域の歴史に対する理解と愛着を深めるため、古文書学習会を開催します。		郷土資料館運営事業	文化振興課
207		各種団体との連携	各学校や市内生涯学習活動団体との連携を深めるため、学校や団体の依頼に応じて各種展示の説明や講座、施設案内などを行います。		郷土資料館運営事業	文化振興課

■取組みの『見える化』

第3期計画期間

		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	備考
郷土資料館の入館者数	目標値			8,100人	8,300人	8,500人	8,700人	8,900人 (第3期計画策定時数値)	★コロナの影響あり コロナ禍前 8,835人 (令和元年度)
	実績値	★5,756人	8,038人	8,038人	8,224人	—	—	—	
		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	備考
特別展の入館者数	目標値			1,800人	2,100人	2,400人	2,700人	2,900人 (第3期計画策定時数値)	★コロナの影響あり コロナ禍前 2,849人 (令和元年度)
	実績値	★1,450人	2,196人	2,568人	3,482人	—	—	—	
		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	備考
団体(学校や生涯学習団体等)の利用件数	目標値			16件	21件	21件	26件	26件 (第3期計画策定時数値)	★コロナの影響あり コロナ禍前 26件 (令和元年度)
	実績値	★11件	18件	20件	16件	—	—	—	

※令和3年度は計画策定時の現状値として、令和4年度は実績値の推移として記載。

※第3期久喜市教育振興基本計画における各施策の「主な取組み」以外の取組み

連番	新規	取組み	取組みの概要	目標年度	予算書上の事業名	所管課名
208		郷土資料館収蔵資料の整理	利用者の利便性を推進するため、郷土資料館に寄贈・寄託された資料を順次整理します。		郷土資料館運営事業	文化振興課



SDG s の取組み

4 質の高い教育をみんなに	専門家の調査に基づいた本市の歴史を教育等に活用します。また、児童生徒の利用等にも配慮した郷土資料館運営を行います。	11 住み続けられるまちづくりを	市内にある指定文化財の保護・保全を推進します。また、開発によって過去の情報が破壊されないように規制します。
17 パートナーシップで目標を達成しよう	様々な関係者と連携し、各取組みを推進します。		

※取組みの『見える化』 実績値が算出できない項目について

全国学力・学習状況調査の調査項目がなくなったため、実績値を算出できなくなった下記項目については、本実施計画の記載を省略しています。

○基本目標 2 施策 2 4 STEAM教育の推進

- ・「小学5年生まで（中学2年生のとき）に受けた授業では、自分の思いや考えをもとに、作品や作文など新しいものを創り出す活動を行っていた」児童生徒の割合【指導課】

○基本目標 2 施策 3 5 読書活動の推進

- ・1日1回は読書をしている児童生徒の割合（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）【指導課】

○基本目標 2 施策 3 6 体験活動の充実

- ・「今住んでいる地域の行事に参加している」児童生徒の割合【指導課】

○基本目標 2 施策 3 8 教育相談体制の充実

- ・「学校の先生たちは自分の悩みの相談にのってくれた」と回答した児童生徒の割合【指導課】

○基本目標 2 施策 4 2 地域学校協働活動の充実

- ・「保護者や地域の人との協働による取組は、学校の教育水準の向上に効果があった」と思う学校の割合【指導課】



久喜市内小・中学校
マスコットキャラクター
「はぴるん」

第3期 久喜市教育振興基本計画
《実施計画》令和8(2026)年度

令和8(2026)年 月
久喜市教育委員会
